VALUESTAR
LaVie

こだわりAVガイド

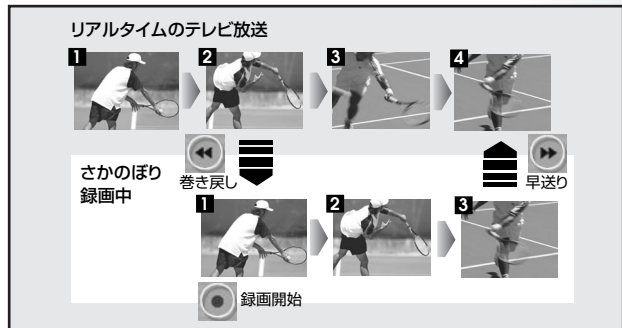
SmartVision

もっとテレビを楽しむ本

『映像・音楽を楽しむ本』より、
一歩進んだテレビの楽しみ方を。

さかのぼり録画／おてがる予約／
おまかせ録画／ぴったり録画／
追っかけ再生／オリジナルDVD作成

パソコンで 充実のTV機能を楽しもう！

テレビを見ていて、「しまった、この番組録画しておけばよかった」と思ったときは「さかのぼり録画」。見ている番組を巻き戻して、前のシーンから録画できます。

PART 2
「さかのぼり録画をする」 p.36

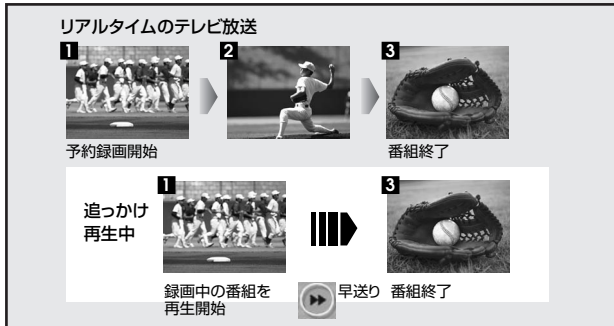
録画予約をするときは、画面に表示された番組表から見たい番組を選べば、そのまま録画予約が可能 ！ ジャンルや出演者名から番組を探して予約することもできます。

PART 1
「おてがる予約をする（番組表で予約する）」 p.18

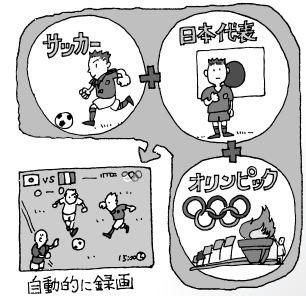
PART 3
「番組を検索して予約する」 p.46

853-810601-545-A

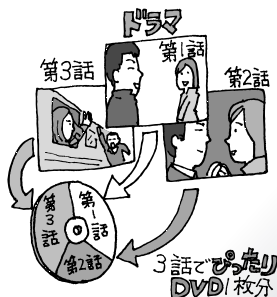
追っかけ再生

予約録画中に家に帰ってきたら、「追っかけ再生」で、録画中の番組を最初から見ることができます。早送りで見れば、リアルタイムの放送に追いつくこともできます。

PART 1
「追っかけ再生をする」

おまかせ録画

興味のあるジャンルやキーワードを登録しておけば、それにあった番組を「おまかせ録画」で自動的に探して録画できます。

PART 2
「おまかせ録画をする」

ぴったり録画

番組をDVDに保存したいけど、DVDにできるサイズになるかどうか心配、というときは「ぴったり録画」が便利。決めたサイズになるように、自動的に画質を調節して録画します。

PART 2
「ぴったり録画をする」

オリジナルDVD作成

録画した番組は、DVDにして保存できます。番組をそのまま手軽にDVDにするほか、映像の編集やオリジナルのタイトル画面を作ることも。

PART 1
「録画した番組でオリジナルDVDを作る」 p.31

PART 4
「番組を編集してDVD-Videoにする」 p.64

853-810601-545-A 2006年4月 初版

このマニュアルの表記について

◆本文中の画面、ホームページ

・本文中の画面は、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面とは多少異なることがあります。本文中に使用しているホームページは、実際にご覧になるものと異なる場合があります。
・SmartVisionの画面は、特別な場合を除き、ダブルチューナTVモデル以外の機種の画面を使用しています。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

	人が障害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

その他の指示事項は、次のマークで表しています。

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
	そのページで大事なことや、操作のヒントが書かれています。
	ダブルチューナTVモデルのみの内容を示しています。
	ダブルチューナTVモデル以外のTVモデルの内容を示しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーやリモコンのボタンを指します。
DVD/CDドライブ	DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ(DVD-R/+R 2層書込み)、CD-R/RW with DVD-ROMドライブのいずれかを指します。
「サポートナビゲーター」	電子マニュアル「サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。「サポートナビゲーター」はデスクトップの(困ったときのサポートナビゲーター)をダブルクリックして起動します。

◆このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

ご購入された製品のマニュアルで表記されているモデル名を確認してください。

液晶ディスプレイセットモデル	液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。
液晶ディスプレイ一体型モデル	液晶ディスプレイと本体が一体になっているモデルのことです。
DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW（DVD-R/+R 2層書込み）モデル	DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ（DVD-R/+R 2層書込み）（DVDスーパーマルチドライブ（DVD-R/+R 2層書込み））を搭載しているモデルのことです。
CD-R/RW with DVD-ROMモデル	CD-R/RW with DVD-ROMドライブ（マルチプレードライブ）を搭載しているモデルのことです。
TVモデル	地上アナログ放送を見るための機能を搭載しているモデルのことです。
ダブルチューナTVモデル	TVモデルのうち、ダブルチューナ（地上アナログ放送）に対応しているモデルのことです。
インスタント機能搭載モデル	インスタント機能を搭載しているモデルです。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 2またはMicrosoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 2またはMicrosoft® Windows® XP Media Center Edition 2005 operating system 日本語版
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 6.0 Service Pack 2
DVD MovieWriter	DVD MovieWriter® for NEC Ver.4
WinDVD	InterVideo® WinDVD™ 5 for NEC
ウイルスバスター	ウイルスバスター™2006 インターネット セキュリティ

アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されます。該当地域における受信可能エリアは、当初、限定されていますが、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法律によって定められております。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121 コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外 NEC では、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Microsoft® Windows® XP Home Edition または Microsoft® Windows® XP Professional、Microsoft® Windows® XP Media Center Edition、および本機に添付の CD-ROM、DVD-ROM は、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9) あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
(10) 地上デジタル・BS デジタル・CS デジタル放送対応のチューナを、本装置の外部入力端子に接続した場合、「1 回だけ録画可能」の番組などのコピー制御された番組は、本装置で視聴、録画およびタイムシフトできません。

目次 CONTENTS

PART 2

おすすめ機能を使おう 35

PART 3

一歩すすんだテレビ操作 45

付録 103

テレビ機能を使おう

さっそく、パソコンのテレビ機能を使ってみましょう。
見るだけでなく、おてがる予約やDVDの作成など、パソコンならではの充実した機能が楽しめます。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

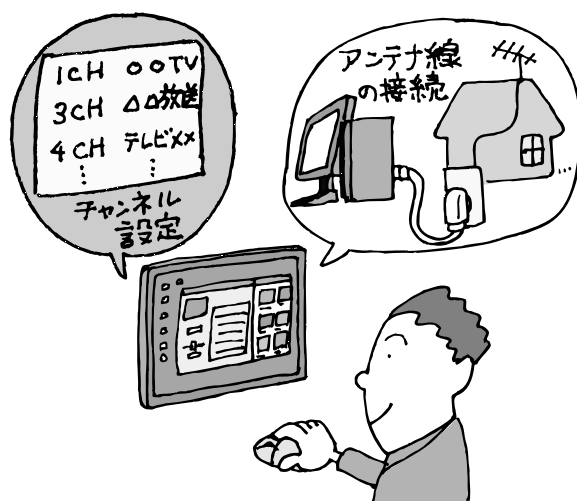
PART 1

テレビ機能を使おう

こんな準備が必要です

パソコンを買ってすぐにテレビを見たい! そんな気持ちはわかりますがちょっと待って。パソコンでテレビを見るには、あらかじめこんな準備が必要です。

初期設定は済んでいますか?

このパソコンでテレビを見るにはアンテナの接続やチャンネルと番組表の設定が必要です。
まだ設定を済ませていないときは、『映像・音楽を楽しむ本』の「テレビを見るための準備(TVモデルのみ)」をご覧になり、準備をしてください。

■ テレビを見るまでの流れ

アンテナ線を接続する

ご家庭のテレビと一緒で、パソコンでテレビを見るにはアンテナ線の接続が必要です。
機種ごとの詳しい説明は、『準備と設定』第4章をご覧ください。

チャンネルと番組表の設定をする

アンテナ線の接続が終わったら、チャンネルと番組表の設定をおこないます。
『映像・音楽を楽しむ本』の「テレビを見るための準備(TVモデルのみ)」をご覧になり、設定をしてください。

PART 1
テレビ機能を使おう

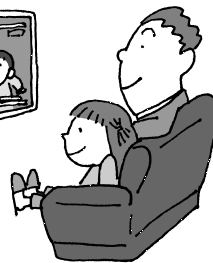
テレビ機能の基本

さあ、パソコンのテレビ機能を使い始めましょう。このPARTでは、テレビを見る、録画と再生をする、録画した番組をDVDにする、という3つの基本を説明しています。

このPARTで説明していること

■ テレビを見る

左の画面はテレビ機能の基本になる、SmartVisionの画面です。
詳しい使い方は、次ページからの説明をご覧ください。

録画予約なら (番組表)

再生、DVD作成なら (VIDEOリスト)

■ 画面で見る番組表、予約録画

番組を選んで、（予約）をクリックすると、録画予約がスタート。

●番組表について→このPARTの「番組表を使う」（p.12）
●予約録画をする→このPARTの「おてがる予約をする（番組表で予約する）」（p.18）

■ ビデオ再生、DVD作成

録画した番組再生はここから選んで、（再生）で見ます。
DVDにしたいなら、（DVD作成）をクリック。

参 照

●再生をする→このPARTの「録画した番組を再生する」（p.26）
●DVDにする→このPARTの「録画した番組でオリジナルDVDを作る」（p.31）

それでは、テレビ機能を使ってみましょう

PART 1 テレビ機能を使おう

テレビを見る

パソコンでテレビを見てみましょう。基本は、普通のテレビと同じです。

■ Visualボタンについて

Visualボタンの付いているディスプレイでは、Visualボタンを押して、Visualモードにできます。
Visualモードは、テレビやDVDをより鮮やかに楽しむための映像鑑賞モードです。

●LaVie Tの場合

LaVie Tをご利用の場合、SmartVisionやMediaGarageでテレビを見ているときにボタンを押すと、現在の画質が表示されます。画質が表示されている間にボタンを押すと、次の設定に切り換えることができます。※1
テレビを表示していないときにVisualボタンを押すと、画面の輝度が「通常」と「最大」の2段階に変化します。

画質	説明
ビジュアルオフ	ご家庭の一般的な使用環境に適した映像になります。
ダイナミック	映像の輪郭やコントラストを強くした映像になります。
シネマ	映画を見るのに適した映像になります。
ユーザー設定	SmartVisionで設定した画質になります。※2

※1：設定の切り換えをおこなうにはSmartVisionの設定ウィンドウで「映像/音声/操作」-「VISITAL」の「プログレッシブ表示（フレームレート）」が「超高精細」に設定されている必要があります。また、MediaGarageをご使用している場合は、SmartVisionの「プログレッシブ表示（フレームレート）」を「超高精細」に設定した上で、フルスクリーンモード表示をしているときに設定の切り換えができます。また、インスタント機能使用時では使用できません。
※2：SmartVisionの設定ウィンドウで「映像/音声/操作」-「TV映像」の「画質モード」で「ユーザー設定」を選択すると、お好みの輝度やコントラストなどが設定できます。

⚠注意

- **ディスプレイをご使用になる際は、周囲を十分に明るくしてご使用ください。**
- **Visualモード使用時は、画面表示がより明るくなるため、周囲を十分明るくし、なるべく離れてご使用ください。**
  ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返す映像を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいるという報告があります。こうした症状のある方は、Visual モードを OFF にしてご使用ください。また、Visual モード使用中にこのような症状が起きた場合は、すぐにご使用を中止して医師の診察を受けてください。
  DVD 再生あるいは TV、VideoCD などをご覧いただく以外の場合は Visual モード OFF でのご使用をおすすめします。
- **SmartVision を起動する前に、音量を確認し、調節してください。**

参照

●Visualボタンについて→LaVie、または液晶ディスプレイ一体型モデルの場合は「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「各部の名称と役割」、その他のモデルの場合は、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。
●音量の設定について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「サウンド機能」

SmartVisionを起動する

ここでは、パソコンでテレビを見るときの基本的な操作を説明します。

1 「ソフトナビゲーター」の「映像を見る・録る」-「テレビを見る・録画する」-「SmartVision」の「ソフトを起動する」をクリック

SmartVisionが起動します。
「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision」-「SmartVision」をクリックしても起動できます。

■ SmartVisionのモードを切り換える

初回起動時は、画面は視聴に必要な最小限の機能が表示された「スリムモード」になっています。

1 「画面モード切換タブ」の（ノーマル）をクリック

画面が「ノーマルモード」に切り換わります。

ポイント

- 通知領域のを右クリックして表示されるメニューから「SmartVision起動」を選んでも起動できます。
- SmartVisionを起動したときに、ほかのソフトやウイルスチェックソフトについてのメッセージが表示されます。不要なときは、「次回起動時、このダイアログを表示しない」をにして、「OK」をクリックしてください。

チェック

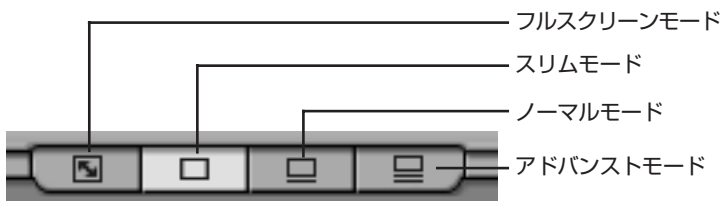
- テレビの視聴中は、できるだけほかのソフトを操作しないでください。
- SmartVisionの起動中は、MediaGarageなど映像を表示するソフトを起動できません。
- SmartVisionは、「Guest」のアカウントでは利用できません。「コンピュータの管理者」または「制限」のユーザーアカウントでログオンしてください。
- SmartVision起動中にファイルアクセスが発生すると、ウイルスバスターなどのセキュリティソフトがリアルタイムにファイルスキャンをおこなうことがあります。この影響で、画面が乱れる（コマ落ちする）ことがあります。

参照

画像が乱れたときの対応方法→PART6の「映像が乱れる（コマ落ちする）」（p.90）

この画面で、テレビのいろいろな機能が使えます。使い終わって、SmartVisionを終了するときは、画面右上の☒をクリックします。

■ 画面モードについて

SmartVisionには、フルスクリーンモード/スリムモード/ノーマルモード/アドバンストモードの4つの画面モードがあります。
「画面モード切換タブ」をクリックして、目的に合った画面に切り換えることができます。

画面モード	説　明
フルスクリーンモード	ディスプレイ全体に映像を表示します。マウス(NXパッド)をクリックするともとのモードに戻ります。
スリムモード	チャンネル切り換えや音量の調節など、視聴に必要な最小限の機能のモードです。小さな画面で表示されます。
ノーマルモード	テレビ視聴の基本的な操作ができます。
アドバンストモード	基本的な操作に加えて、録画した番組の簡易編集や静止画キャプチャ、ブックマーク、番組の詳細情報の表示などができます。

このマニュアルでは、基本的に「ノーマルモード」の画面を使って、各機能を説明しています。画面モードが異なる場合は、ノーマルモードに切り換えてご覧ください。

■ 見ている番組を操作する

このパソコンでテレビを見るときに「タイムシフト機能」を使うと、見ている番組をビデオのように巻き戻したり一時停止をしたりできます。
タイムシフト機能を使うには、あらかじめ、画面右の「タイムシフト」をクリックして、「タイムシフトモード」にしておく必要があります。

チェック

タイムシフトモードで見ていなかった番組は操作できません。

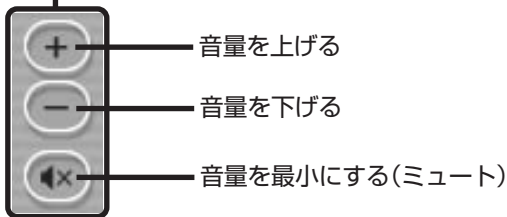
参照

タイムシフトモードについて→PART2の「さかのぼり録画をする」(p.36)

音量を調節する

音量の調節には、SmartVisionの音声コントロールを使います。

1 ＋、－をクリック

音量が上下します。またをクリックすると音量が最小になります(ミュート)。

チェック

- 音声コントロールとは別に、パソコンのスピーカの音量を調節できます。スピーカの音量が最小になっていると、SmartVisionの音声コントロールを調節しても音量が大きくなりません。
- 音声コントロールで音量を最大にしてもテレビの音が小さいときは、パソコンのスピーカの音量を上げてください。スピーカの音量を調節しても、音声コントロールのVOLは変化しません。

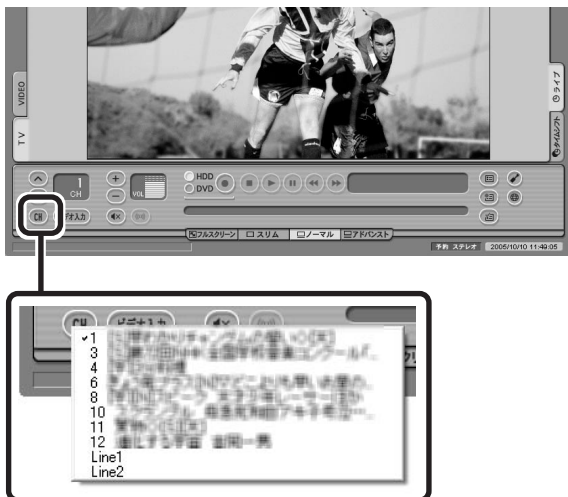
参照

パソコンのスピーカの音量を調節する→『準備と設定』第4章の「音量を調節する」

チャンネルを切り換える

チャンネルを切り換えるには、SmartVisionのチャンネルコントロールを使います。

1 **CH をクリックして表示されるチャンネルリストから、チャンネルをクリック**

チャンネルが切り換わります。

チャンネルを切り換えるときは1秒以上間隔をあけて操作してください。

ポイント

ほかにも、次の方法でチャンネルを切り換えられます。

- ・[∧]、[∨]をクリックする
- ・[1 CH]の欄をクリックして、キーボードでチャンネル番号を入力する
- ・番組表を表示して、見たい放送局名をクリックする
- ・キーボードの【1】～【0】を使ってチャンネルを切り換える

1CH～10CH	【1】～【0】
11CH	【Ctrl】+【1】
12CH	【Ctrl】+【2】

- ・キーボードの【Ctrl】を押しながら【↑】、【↓】を押す

今見ている番組を録画する

ビデオと同じように、見ている番組をすぐに録画できます。

1 **(録画)をクリック**

録画が始まります。

2 **録画をやめたいところで (停止)をクリック**

これで録画ができました。録画した番組を見る方法は、このPARTの「録画した番組を再生する」(p.26)をご覧ください。

チェック

コピー制御信号が含まれた映像は録画できません。コピー制御信号が検出されると、自動的に録画は終了します。

ポイント

- ● (録画)をクリックしてから、実際に録画が始まるまで、少しの間があります。「さかのぼり録画」で巻き戻してから録画をするほうが確実です。
- ● (録画)を連続してクリックすると、録画時間を設定できます。
- ●見ている番組を録画するときの画質は、ご購入時の状態では「標準画質」に設定されています。画質は、「設定ウィンドウ」の「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」タブの「録画/タイムシフトの画質」で設定できます。

さかのぼり録画について→PART2の「さかのぼり録画をする」(p.36)

テレビを画面いっぱいに表示する

普通のテレビのように、画面いっぱいに映像を表示して大画面でテレビを楽しむこともできます。

1 画面下にある「画面モード切り換えタブ」の[フルスクリーン](フルスクリーン)をクリック

フルスクリーンモードになり、画面いっぱいに映像が表示されます。

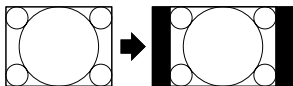
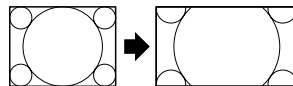
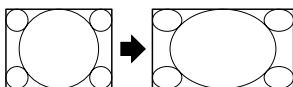
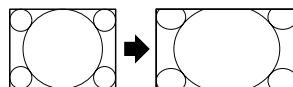
2 マウスを左クリック

もとの画面に戻ります。

■ ワイド液晶ディスプレイの場合

ワイド液晶ディスプレイを搭載したモデルでは、フルスクリーンモードの画面の表示方法を次の4つから選べます。ご購入時の設定では「スタジアム」になっています。

表示方法	説　明
ノーマル	4:3表示の画面で表示されます。画面の左右が黒く表示されます。
ワイド	4:3表示の画面を16:9に拡大して表示します。
ズーム	縦横比を保ったまま4:3画面を16:9に拡大します。画面の上下が切れた状態で表示されます。
スタジアム	水平方向が、一般にノンリニアスケーリングと呼ばれる画面になります。画面の中央はあまり拡大せず、画面の左右を拡大して4:3画面を16:9に表示します。上下約10%はカットして表示されます。

ノーマル

ズーム

ワイド

スタジアム

フルスクリーンモードの画面は、次の手順で切り換えます。

チェック

- このテレビ機能を、営利目的または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテル等の公の施設に設置した場合、ズーム、ワイド、およびスタジアム表示機能を利用して、画面のフレーム表示や圧縮、引き伸ばし表示等をおこなわないでください。著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
- 「スタジアム」は、「設定ウィンドウ」-「映像/音声/操作」-「VISITAL」の「プログレッシブ表示(フレームレート)」が「高精細」または「超高精細」(LaVie Tのみ)になっていないと利用できません。ご購入時の状態では、「高精細」(LaVie Tでは「超高精細」)になっています。

1 (設定)をクリック

「設定ウィンドウ」が表示されます。

2 設定を変更する

① 「映像/音声/操作」アイコンをクリック

② 「表示」タブをクリック

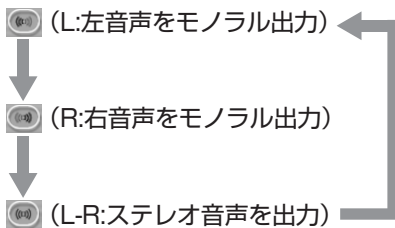
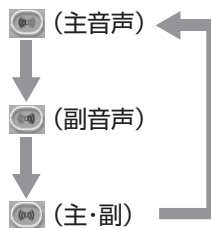
③ 表示方法を選んで にする

④ 「OK」をクリック
テレビ画面に戻ります。

これで、フルスクリーンモードの表示方法が変わります。

音声を切り換える

外国映画やスポーツ中継、ステレオ放送など、音声多重放送を見るときに、音声コントロールの(音声ボタン)を押すと音声が順番に切り換わります。

●ステレオ放送のとき

●主音声/副音声のとき
(二カ国語放送など)

チェック

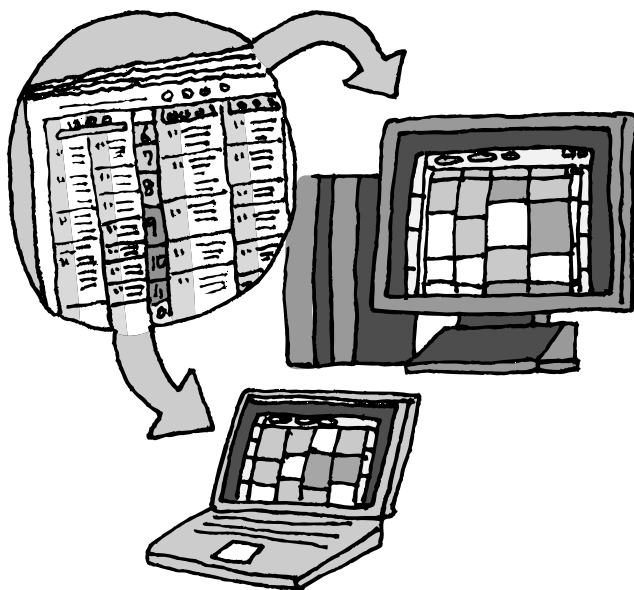
- 音声の切り換えは、タイムシフトモードでテレビを見ているときと、録画番組を見ているときだけ可能です。
- L(左音声のみ)/R(右音声のみ)の場合は、両方のスピーカから同じ音が出ます。
- ご購入時の状態では、二か国語放送は、日本語のみを受信する設定になっています。次の手順で設定を変更できます。
  1. (設定)をクリック
  2. 「映像/音声/操作」-「TV音声」タブをクリック
  3. 「二ヶ国語放送」の▼をクリックし、聞く音声を選ぶ

PART 1
テレビ機能を使おう

番組表を使う

SmartVisionには、自動的に更新される新聞のテレビ欄のような番組表が付いています。

画面で見る番組表

「今日はどんな番組があるのかな？」と思ったとき、何を見ますか？新聞やテレビ情報誌？
これからは、SmartVisionの画面で番組表が見られます。この、画面で見る番組表から、見たい番組を選んだり、録画の予約もOK。
番組表は、テレビの電波を通じて自動的に更新されます。また、いつでもインターネットからダウンロードできます。
番組表は最大8日分※が表示されるので、番組のチェックにも最適です。

※番組表は、各地域におけるテレビ朝日系列の放送局から受信されます。

※番組表は通常、次の日数分が配信されます。

- ●北陸朝日放送、あさひテレビのエリア：7日分
- ●北九州エリアのＮＨＫ総合、NHK教育：2日分
- ●上記以外のエリア：最大8日分

この日数は、予告なく変更される可能性があります。

チェック

番組表を送信している放送局はお住まいの地域によって異なります。各地域の番組表を送信している放送局は、次のとおりです（2006年4月現在）。

放送局	
北海道テレビ放送	朝日放送(ABCテレビ)
青森朝日放送	広島ホームテレビ
岩手朝日テレビ	山口朝日放送
東日本放送	瀬戸内海放送
秋田朝日放送	愛媛朝日テレビ
山形テレビ	九州朝日放送
福島放送	長崎文化放送
新潟テレビ21	熊本朝日放送
長野朝日放送	大分朝日放送
あさひテレビ	鹿児島放送
北陸朝日放送	琉球朝日放送
メ～テレ	テレビ朝日

番組表は、約2時間おき（夜間除く）に放送されます。

番組表を見る

番組表は、受信が終わっていれば、いつでも見られます。
番組表の受信が終わっていないと、番組表を表示できません。このパソコンですでにインターネットができる場合は、このPARTの「インターネットから番組表をダウンロードする」(p.14)を先にご覧になり、番組表をダウンロードしてください。

1 (番組表)をクリック

番組表が表示されます。

チェック

- SmartVisionが起動していないときは、通知領域の を右クリックして表示されるメニューから「番組表拡大表示」を選んでも番組表を表示できます。
- 通知領域の が点滅しているときは、番組表の受信中です。番組表の受信が終わるまで、完全な番組表は表示されません。

■ 番組表の使い方

Ⓐプレビュー領域
選んだ番組を表示します。

Ⓑ番組情報
選んだ番組の詳しい情報を表示します。

Ⓒ予約ボタン
選んだ番組を予約する画面に移ります。

Ⓓ日付
各日付をクリックすると、その日の番組表を表示します。

Ⓔ番組表チャンネル※
今選んでいる番組のチャンネルは、ピンク色の枠で囲まれています。

Ⓕ番組表※
現在の時刻が青い横線で表示されます。番組はジャンル別に色分けして表示しています。番組をクリックすると、「番組情報」欄に情報が表示されます。番組をダブルクリックすると、選んだ番組を予約する画面に移ります。

※ 画面の や をクリックしたり、バーをドラッグして、表示するチャンネルや番組を変えられます。

■ テレビを見る画面に戻る

番組表から、テレビを見る画面に戻るには、次の手順で操作します。

1 画面左にある「TV」タブ(ダブルチューナTVモデルの場合は「TV1」または「TV2」)をクリック

2 (番組表)をクリック

これで、テレビを見る画面が表示されます。

インターネットから番組表をダウンロードする

このパソコンでインターネットができるようになっていれば、いつでも番組表を更新できます。
インターネットから番組表をダウンロードするには、「ADAMS-EPG+」というサービスを利用します。

■ ADAMS-EPG+の設定

1 (設定)をクリック

「設定ウィンドウ」が表示されます。

チェック

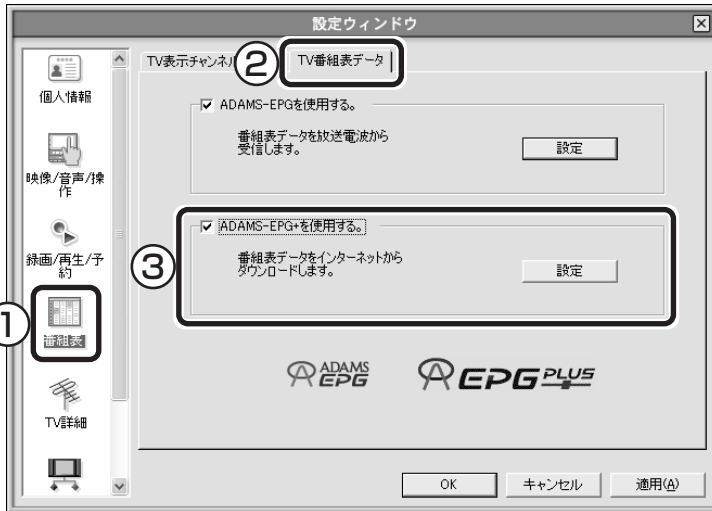
●セキュリティソフトによっては、ADAMS-EPG+で番組表をダウンロードできない場合があります。その場合は、セキュリティソフトのマニュアルをご覧になって設定を変更してください。

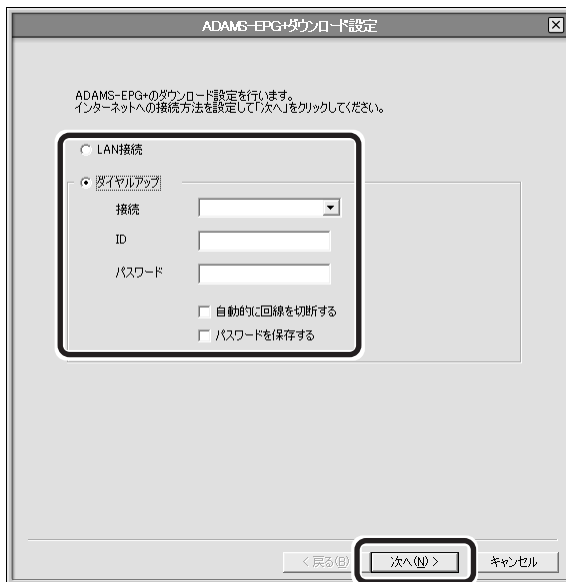
●インターネットに接続するための通信料金およびプロバイダ料金はお客様の負担となります。

2 「ADAMS-EPG+ダウンロード設定」の画面を表示する

① 「番組表」アイコンをクリック

② 「TV番組表データ」タブをクリック

③ 「ADAMS-EPG+を使用する。」の左を☑にして、「設定」をクリック

「ADAMS-EPG+ダウンロード設定」画面が表示されます。

3 インターネットへの接続方法を設定し、「次へ」をクリック

ご使用の環境に合わせて、「LAN接続」か「ダイヤルアップ」の左を◉にして、必要な設定をしてください。

4 「サーバ上の全データ」の左が◉になっていることを確認し、「完了」をクリック

「設定ウィンドウ」に戻ります。

5 「設定ウィンドウ」の「OK」をクリック

これで、番組表をインターネットからダウンロードする準備は完了です。

■ 番組表をダウンロードする

設定が終わっていて、インターネットへの接続があれば、いつでも番組表をダウンロードできます。

1 (番組表)をクリック

番組表が表示されます。

2 (番組表取得)をクリック

「ADAMS-EPG+番組データ受信」画面が表示され、自動的に番組表が受信されます。

3 「OK」をクリックし、「ADAMS-EPG+番組データ受信」画面で「完了」をクリック

これで、番組表のダウンロードは完了です。

チェック

ADAMS-EPG+から番組表データをダウンロードするときに、ウイルスバスターのパーソナルファイアウォールがブロックしてうまくダウンロードできない場合は、ブロックを解除してください。詳しくは、「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「不正アクセスの防止」-「アクセスブロックを解除する」をご覧ください。

PART 1
テレビ機能を使おう

おてがる予約をする（番組表で予約する）

パソコンをハードディスクレコーダーとして使ってみましょう。テレビの見方が変わります。

おてがる予約って何？

パソコンでテレビを見る楽しみの1つが、録画です。パソコンでの番組録画は、ハードディスクレコーダーと同じ。今までのビデオテープのように、時間がたって映像が劣化してしまうようなことはありません。パソコンのハードディスク内に録画するから、山のようなビデオテープが邪魔になることもなし。

「おてがる予約」は、新聞のテレビ欄のような番組表から番組を選んで予約する方法です。今までのビデオデッキのように、開始時間や終了時間を入力する必要はありません。気になる番組をどんどん録画して好きな時間に見る。そんな新しいテレビの見方が始まります。

■ まだある、ほかの予約方法

ここでは、もっとも基本的な、番組表で予約する方法を説明します。
まずは、このやり方をおすすめしますが、慣れてきたら、こんな予約の方法はどうでしょう？

●番組検索で、まとめて予約

番組表では、番組のジャンルやキーワードから番組を検索できます。そこで、見たいジャンルやタレントの名前などから番組を検索して、まとめて予約してしまうと便利。番組表は最大8日分表示されるので、1週間に1度の予約で間に合うかも？

表示される番組表の日数は、地域によって異なります。

参照

●番組を検索して予約する方法→PART3の「番組を検索して予約する」（p.46）

●番組表について→このPARTの「番組表を使う」（p.12）

●おまかせ録画で、自動的に録画

このパソコンには、あらかじめ設定したキーワードなどの条件に合った番組を自動的に録画してくれる「おまかせ録画」機能があります。見たい番組のキーワードを設定しておけば、今まで気付いていなかった好みの番組に出会えるかもしれません。

おまかせ録画について→ＰＡＲＴ２の「おまかせ録画をする」（p.39）

おてがる予約をする

番組表から録画の予約をしてみましょう。

1 (番組表)をクリック

番組表が表示されます。

2 予約する番組を決める

① 日付をクリック

② 予約したい番組を表示する

③ 番組をクリック
「番組情報」欄に、番組の詳細情報が表示されます。

④「予約」をクリック

「予約設定」画面が表示されます。

ポイント

予約を始める前に、パソコンの時計を合わせておいてください。時計がずれていると、録画時間などがずれてしまいます。
パソコンの時計は、SmartVisionの(設定)をクリックして表示される「設定ウィンドウ」の「TV詳細」-「時刻修正」の画面で「設定」をクリックし、「時刻修正」画面で、「今すぐに修正する」をクリックすると合わせられます。

現在の時刻から3分以上後の番組について予約できます。

ポイント

番組名をダブルクリックしても「予約設定」画面が表示されます。

3 予約内容を設定する

① 番組の情報を確認する

② ▼をクリックして「画質」を選ぶ
画質の用途と特長については、次の「録画の画質とハードディスク容量について」をご覧ください。

③「OK」をクリック
「予約設定」画面が閉じます。

4 (番組表)をクリック

テレビ画面に戻ります。

これで、番組の予約ができました。

- 予約後は、電源ケーブル(ACアダプタ)を抜かないでください。予約が実行されません。
- 予約をした後、パソコンを使わないときは、パソコンを省電力状態(スタンバイ状態/休止状態)にしておきます。予約した時間になると、パソコンが自動的に復帰して予約を実行します。
- 予約録画した番組の再生方法については、このPARTの「録画した番組を再生する」(p.26)をご覧ください。

- 「実行モード」の「保存先」で「DVD」を選んだ場合、予約の実行前に、DVD/CDドライブに十分な空き容量のあるDVD-RAMをセットしておいてください。
- 「実行モード」の「保存先」で「DVD」を選んだ場合、予約録画開始時に予想録画サイズ分の空き容量がDVD-RAMにないときは、ハードディスクに録画されます(代理録画)。代理録画については、「設定ウィンドウ」の「録画/再生/予約」-「DVD直接録画」で設定を変更できます。
- シークレット予約にした番組は、ほかのユーザーアカウントでは再生したり予約内容を確認したりできません。
- 「実行モード」で「視聴」を選んだ場合、スタンバイやスクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないようにしてください。

参照

- このほかの予約設定の項目について→オンラインヘルプの「ボタンと使い方」-「ノーマルモード･アドバンストモード共通」-「ダイアログ」-「予約設定ダイアログ」
- DVDへの直接録画について→PART4の「DVD-RAMに直接録画する」(p.74)
- 視聴予約について→PART3の「視聴予約をする」(p.61)

ポイント

省電力状態にすると、パソコンの消費電力を抑えられます。

参照

省電力状態について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「省電力機能」

設定によって、電源を切った状態から予約を実行することもできます。詳しくは、PART3の「予約実行後の動作を設定する」(p.59)をご覧ください。

■ 録画の画質とハードディスク容量について

録画した番組は、選んだ画質によって、ファイルサイズ(必要な容量)が異なります。
録画中に、ハードディスクの残り容量が設定ウィンドウの「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」タブの「録画を停止する空き容量サイズ」と「タイムシフト可能時間」(タイムシフト画質)で設定している容量より少なくなると、録画は自動的に終了します。

ポイント

ハードディスクの容量は、「マイコンピュータ」でドライブ名をクリックすると「詳細」欄に表示されます。

画　質	1時間の録画に必要なハードディスク容量	用途や特長
高画質	約3.5Gバイト	ファイルサイズが多少大きくなりますが、きれいな画質で録画できます。録画したテレビ番組を後でDVD MovieWriterで編集する場合は、高画質モードで録画することをおすすめします。
標準画質	約1.8Gバイト	一般的な録画に向いています。
長時間	約1.0Gバイト	やや画質が落ちますが、ファイルサイズを小さくできます。長時間の録画や、ちょっと録画しておきたいときに向いています。
超長時間	約660Mバイト	画質は落ちますが、ファイルサイズを最小にして「長時間」以上の録画ができます。
ユーザー設定	約600Mバイト～約6.5Gバイト(設定によって異なります)	画質を数値で細かく設定できます。パソコンや動画について、詳しい知識があるかた向けの設定です。

後から番組を編集したりDVDにしたりする予定のときは、次のことに注意してください。

●録画した番組を後でDVD MovieWriterを使ってDVDに保存するときは、「ユーザー設定」以外の画質で録画することをおすすめします。特に、編集などをする場合は「高画質」で録画することをおすすめします。

●市販の動画編集ソフトを使う場合は、ソフトのマニュアルをご覧になり、画質や録画サイズを決めてください。データサイズや画質によって編集できない場合があります。

チェック

編集する目的で、画質を「ユーザー設定」にするときは、ビットレートを8Mbps以下に設定してください。

■ 予約の実行について

予約実行の5分前になると、パソコンが省電力状態から復帰し、次の画面が表示されます。

パソコンを使用中の場合は、使用しているソフトを終了して録画できる状態にしてください。
このときログオンユーザーを切り替えたりすると、予約が実行できなくなります。
録画中は、画面右下のアイコンが次のように交互に表示されます。

チェック

「設定ウィンドウ」の「録画/再生/予約」アイコンをクリックし、「予約」タブをクリックして表示される画面で、「予約開始前のメッセージ表示」の「表示する。」を□にすると、この画面は表示されなくなります。

ポイント

●予約を実行する時間が近づくと、画面右下のアイコンに実行までの残り分数が表示されます。

●SmartVisionが起動していない場合は、通知領域にあるアイコンを右クリックして表示されるメニューから「予約キャンセル」をクリックして、予約をキャンセルできます。

●実行中の録画を中止したいときは、通知領域のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「録画終了」をクリックしてください。

■ Night Modeボタンを使う(VALUESTAR W、VALUESTAR R)

Night Modeにすると、ディスプレイやサウンドをオフにした状態で録画されます。就寝中や外出中の録画に便利です。また、録画途中からでもNight Modeに切り換えられます。
本体前面のNight Modeボタンを押すと、Night Modeとなり、ボタンのランプが青色に点灯します。もとに戻すときは、もう一度Night Modeボタンを押します。

予約の確認や変更、取り消しをする

いったん予約をした後で、予約内容を変えたり取り消したりするには、次の手順で操作します。

1 (予約&結果リスト)をクリックし、「予約リスト」タブをクリック

予約一覧が表示されます。

2 予約内容を確認、または変更したい番組をクリックし、変更(変更)をクリック

「予約設定」が表示されます。

ポイント

ここで取消(取消)をクリックすると、予約を取り消せます。

チェック

予約リストで、「!」が付いている番組は、ハードディスクの容量が足りないため録画できません。不要な録画番組を削除するなどして、ハードディスクの空き容量を増やしてください。

参照

録画番組を削除するには→このPARTの「録画した番組を削除、整理する」(p.29)

3 **予約内容を確認または変更し、「OK」をクリック**

「予約設定」画面が閉じます。

4 **(予約&結果リスト)をクリック**

テレビ画面に戻ります。

予約の確認、変更はこれで完了です。

予約の結果を確認する

予約した録画が成功したかどうかを確認できます。VIDEOリストに録画した番組が見あたらないときは、この方法で確認してください。

1 **(予約&結果リスト)をクリックし、「結果リスト」タブをクリック**

結果一覧が表示されます。

2 予約結果を確認する

予約結果は、次の3種類で表示されます。

- ・○成功 ：録画は成功しています。
- ・△成功 ：DVD直接録画で代理録画になっているか、ぴったり録画で指定したサイズになっていません。
- ・●失敗 ：録画に失敗しています。

ポイント

代理録画とは、DVD直接録画で、DVD-RAMの容量が足りないときなどに、ハードディスクに録画する機能です。

参照

DVD直接録画について→PART4の「DVD-RAMに直接録画する」(p.74)

予約するときの注意

番組を予約するときは、次のことに注意してください。
注意の内容は、シングルチューナとダブルチューナで異なります。お使いのモデルを確認してからご覧ください。

■ すべてのモデルに共通の注意

- ●システムスタンバイの時間は、5分以上に設定してください。
- ●パソコンを長時間使用した後に予約録画をする場合は、一度パソコンを再起動してから録画予約の設定をすることをおすすめします。
- ●録画中や再生中にエラーが発生した場合は、パソコンを再起動してください。
- ●ひんぱんに録画する場合(週に10時間以上)は、ハードディスクへの書き込みを効率的にするために、週1度程度を目安にディスクデフラグを実行してください。ディスクデフラグは、「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「ディスクデフラグ」で実行します。
- ●SmartVisionが起動した状態で予約録画をおこなうと、番組の録画が開始時間よりも若干遅れて始まる場合があります。番組開始時刻ちょうどに予約録画を開始したい場合は、「設定ウィンドウ」の「録画/再生/予約」-「予約」タブの「開始時刻微調整」で録画開始時刻を微調整してください。
- ●予約は、200件までできます(番組表受信予約、おまかせ録画を含む)。
- ●放送時間が連続した複数の番組を予約録画する場合、前の番組は次の番組の録画開始処理のため、予約した時刻よりも4秒早く録画が終了します。
- ●番組表や番組検索画面でプリセットチャンネルとして設定されていない放送局を選んだ場合、ビデオ入力の予約になります。

チェック

ディスクデフラグには時間がかかります。十分な時間がとれるときに実行してください。

ディスクデフラグについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「ディスク デフラグ」

●電源を切った状態から予約録画する設定の場合、電源を切ってから録画開始までの時間が8分よりも短いと、パソコンが自動起動しません。また、強制的にパソコンの電源を切った場合も、パソコンが自動起動しません。

●一か月以上先の予約をする場合は、電源を切った状態から自動起動しません。パソコンを省電力状態にしてください。

■ シングルチューナの注意 シングルチューナ

●録画予約をしたときに、すでに同じ時間帯に別の番組や、番組表の受信が予約されている場合は、「予約重複」画面が表示されます。前の予約をキャンセルして予約するときは、「予約登録」をクリックしてください。

チェック

同じ時間帯にほかのユーザーのシークレット予約がされている場合は、「他ユーザーのシークレット予約と重複しています。」と表示され、予約できません。

■ ダブルチューナの注意 ダブルチューナ

●録画予約、視聴予約、番組表の受信は、同じ時間帯に2件まで予約できます（視聴予約は同じ時間帯に1件まで）。3件の予約が重なると、「予約重複」画面が表示されます。前の予約をキャンセルして予約するときは、「予約登録」をクリックしてください。

●DVD直接録画の予約を設定している時間帯には、ほかの予約を設定できません。

チェック

同じ時間帯にほかのユーザーのシークレット予約がされている場合は、「他ユーザーのシークレット予約と重複しています。」と表示され、予約できません。

録画中に裏番組を見る ダブルチューナ

ダブルチューナTVモデルでは、同じ時間帯の番組を2ついっぺんに録画したり、録画中も裏番組を見たりできます。
録画中に裏番組を見るには、画面左側の「TV1」「TV2」タブをクリックしてチューナを切り換えます。

今見ているチューナのタブは水色、見ていないチューナのタブはグレーで表示されます。また、録画中のチューナのタブは赤で表示されます。

チェック

この機能は、ダブルチューナTVモデルのみの機能です。

録画した番組を再生する

録画した番組は、番組名から選んで再生できるので、「見たい番組がどこにあるのかわからない」なんてことにはなりません。

再生の方法

録画した番組を再生してみましょう。SmartVisionのVIDEOリストは、録画した番組名が日付順に並んでいるので、見たい番組を見つけるのも簡単です。

1 (VIDEOリスト)をクリック

VIDEO リストが表示されます。

2 再生したい番組名をクリック

録画した番組の名前は、録画したときの状況によって、次のように決まります。

●番組表データがある場合：番組情報の番組名になります
●番組表データがない場合：「番組名なし」になります

選んだ番組には、青い帯が表示されます。

3 (再生)をクリック

再生が始まります。

再生中は、普通のビデオと同じように、(一時停止)、(早送り)、(巻き戻し）の操作ができます。

4 再生を終了するときは、(停止)をクリック

次に同じ番組を再生するときは、停止した場所から再生されます。

(停止) を2回クリックすると、最初から再生されるようになります。

ポイント

SmartVisionを起動していないときは、通知領域にあるを右クリックして表示されるメニューから「VIDEOリスト拡大表示」をクリックしてもVIDEOリストを表示できます。また、SmartVisionの画面左にある「VIDEO」タブをクリックしてもVIDEOリストを表示できます。

ポイント

●番組名は、文字の色によって次のように分かれています。
・水色の文字：
まだ一度も再生していない番組
・黒い文字：
再生したことのある番組
・紫の文字：
「シークレット録画」をした番組。録画したユーザーアカウント以外では、番組名が「シークレット」と表示され、再生できません
●「おまかせ録画」の番組を再生するときや、「簡易編集」した番組を再生するとき、追加したフォルダの番組を再生するときは、それぞれのフォルダをクリックして選んでください。

参照

●「おまかせ録画」について→PART2の「おまかせ録画をする」(p.39)
●「簡易編集」について→オンラインヘルプの「使ってみよう（導入編）」-「SmartVisionで編集しよう!」-「いらないシーンは切り取って欲しいとこだけ残そう」
●録画番組の保存先の変更方法→オンラインヘルプの「設定」-「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」

■ テレビを見る画面に戻る

VIDEOリストから、テレビを見る画面に戻るには、次の手順で操作します。

1 **(VIDEOリスト)をクリック**

これでテレビを見る画面に戻ったときは、手順2は必要ありません。

2 **画面左にある「TV」タブ(ダブルチューナTVモデルの場合は「TV1」または「TV2」)をクリック**

これで、テレビを見る画面が表示されます。

■ その他の再生方法

SmartVisionでは、普通に録画番組を再生する以外にも、次のような再生方法があります。

●サムネイルから見たいシーンを再生する
「シーンインデックス」という機能で、場面の切れ目ごとに自動作成された静止画から再生するシーンを決める方法です。よく見るシーンにブックマーク(しおり)を付けて、再生しやすくすることもできます。

●特殊再生モードで再生する
次の3つの特殊再生モードが利用できます。

- 音声付き変速再生
  映像、音声をすべて早送りで再生します。
- 短縮再生(録画番組再生時のみ)
  会話や字幕があるシーンだけを通常の速度で再生します。ニュース番組を短時間で見る場合などに便利です。
- リピート(録画番組再生時のみ)
  録画した番組を自動的に繰り返し再生します。

チェック

- LaVie Tをご利用の場合、ご購入時の状態では、音声付き変速再生、ブックマークの登録ができません。これらの機能を利用するには、設定の変更が必要です。設定の変更方法は、付録の「LaVie Tのテレビ機能について」(p.107)をご覧ください。
- 短縮再生機能は、画面上部3分の2に表示される映像の切り換わりや、画面下部3分の1に表示されるテロップなどを参考に画像検出をおこなっています。そのため、表示されている映像によっては、期待した効果が得られない場合があります。

参照

シーンインデックス、特殊再生について→オンラインヘルプの「ボタンと使い方」-「アドバンストモード」-「シーン‥」

追っかけ再生をする

録画予約したドラマ、半分まで放送されたところで帰宅。そんなときでも、今までのように録画が終わるまで待つことはありません。「追っかけ再生」機能を使えば、録画中の番組も始めから再生OK。
また、早送りで番組を見れば、リアルタイムの放送に追いつくこともできます。

ポイント

追っかけ再生中に一時停止や巻き戻しなどの操作をしても、録画は中断されずに続行します。

追っかけ再生の方法は「見ている番組を操作する」(p.37)と同じです。
追っかけ再生したい番組を、最初まで巻き戻して再生を始めます。
ダブルチューナTVモデルの場合は、画面左側の「TV1」、「TV2」タブをクリックして追っかけ再生をしたい番組を表示してください。
「ライブモード」になっているときは、「タイムシフトモード」に切り換えてください。

ポイント

「ライブモード」でテレビを見ていても、予約録画の実行中に「タイムシフトモード」にすると、巻き戻しなどの操作ができます。

DVD-RAMに直接録画をしているときは、「ライブモード」のみの利用になるため、「追っかけ再生」はできません。

録画した番組を削除、整理する

録画した番組は、見終わったものを削除したり、番組ごとにフォルダを分けたりして、整理ができます。

■ 番組を削除する

見終わって、もう必要のない録画番組は削除しましょう。録画データはファイルサイズが大きいので、必要のない録画データを残しておくとハードディスクの無駄になります。

1 (VIDEOリスト)をクリック

VIDEO リストが表示されます。

2 削除したい番組をクリックし、削 除 (削除)をクリック

次の画面が表示されます。

複数の番組を削除したいときは、【Ctrl】を押したまま番組をクリックすると、複数の番組を選べます。

3 「はい」をクリック

これで、録画番組が削除されました。

複数ユーザーでパソコンを使っている場合、ほかのユーザーが録画した番組を選んだときは、「他のユーザーの番組ですが、削除してもよろしいですか？」または「他のユーザーの番組が含まれていますが、削除してもよろしいですか？」と表示されます。「はい」をクリックすると、ほかのユーザーが録画した番組も削除されます。削除しない場合は、「いいえ」をクリックして、番組を選びなおしてください。
ほかのユーザーがシークレット予約している番組は削除できません。

■ 番組を移動する

録画した番組を別のフォルダに移動します。
あらかじめ、移動先となるフォルダをエクスプローラなどで作っておいてください。

1 **(VIDEOリスト)をクリック**

VIDEO リストが表示されます。

2 **追加(追加)をクリックして表示される画面であらかじめ作っておいた移動先フォルダを選択し、「OK」をクリック**

新しいフォルダが「フォルダ」欄に追加されます。

3 **移動したい番組をクリックし、新しいフォルダにドラッグ&ドロップする**

番組が移動し、もとのリストから消えます。

これで、番組の移動ができました。移動した番組を再生するときは、VIDEOリストで、移動したフォルダ名をクリックして番組を表示してください。

移動先になるフォルダは、SmartVisionの録画ファイルが保存されているフォルダと同じドライブに作成してください。違うドライブに作ると、録画データが移動されずにコピーされます。ご購入時の状態では、録画ファイルはCドライブに保存されているので、「共有ドキュメント」などに移動先フォルダを作ることをおすすめします。

参照

フォルダを作るには→『活用ブック』の「見つかるさがせる　簡単ファイル整理術」

複数の番組を移動したいときは、【Ctrl】を押したまま番組をクリックすると、複数の番組を選べます。

チェック

- 複数ユーザーでパソコンを使っている場合、ほかのユーザーが録画した番組データを選んだときは、「他のユーザーの番組ですが、移動してもよろしいですか？」または「他のユーザーの番組が含まれていますが、移動してもよろしいですか？」と表示されます。「はい」をクリックすると、ほかのユーザーが録画した番組データも移動します。移動しない場合は、「いいえ」をクリックして、番組データを選びなおしてください。
- ほかのユーザーが録画した番組データを移動またはコピーすると、そのユーザーからは番組データがどのフォルダに移動、コピーされたのか、わからなくなります。

録画した番組の再生方法→このPARTの「録画した番組を再生する」(p.26)

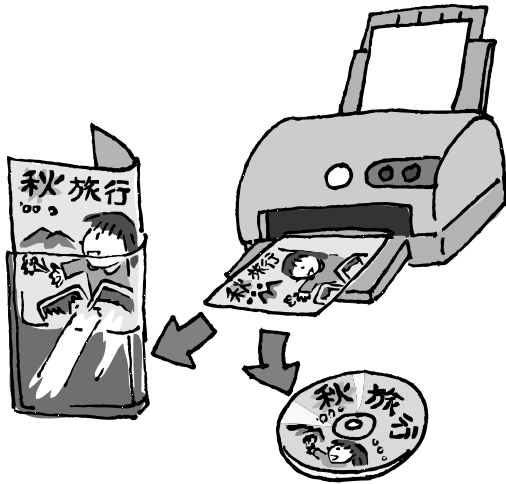
PART 1

テレビ機能を使おう

録画した番組でオリジナルDVDを作る

録画した番組をオリジナルのDVDにすれば、ご家庭のDVDプレーヤで楽しむこともできます。

オリジナルDVDを作ってみよう

SmartVisionで録画した番組は、パソコンで楽しむばかりではありません。番組をDVDに保存すれば、ほかのパソコンや一般のDVDプレーヤで再生できるDVDを作れます。
連続ドラマや大好きなスポーツの試合をオリジナルのDVDにしてみましょう。

チェック

CD-R/RW with DVD-ROMドライブを搭載したモデルでは、DVDに保存することはできません。その場合は、CD-RにVideoCDとして保存されます。また、CD-R/RW with DVD-ROMモデル以外のモデルでは、SmartVisionのVIDEOリストからVideoCDを作成することはできません。

データを書き込めるDVDにはいろいろな種類がありますが、ここでは、おてがるにDVD-R(1層)(4.7Gバイト)のディスクに、番組を編集しないで記録する方法を説明します。
番組を編集して、いらない部分を削除したり、いろいろな番組から欲しいシーンだけをつなげて1本のDVDにしたり、DVDのメニューを編集したいときは、PART4の「番組を編集してDVD-Videoにする」(p.64)をご覧ください。
最近は、ディスクのレーベル面(データを記録しない面)に、プリンタで写真やタイトルを印刷できるディスクがあります。こういったディスクと対応プリンタ、専用のケースなどを組み合わせると、まるで市販のDVDのような凝った作品を作ることもできます。

録画した番組をDVDにする

録画した番組をDVDにします。あらかじめ、何も保存されていないDVD-R(1層)ディスクを用意しておいてください。

1 (VIDEOリスト)をクリック

VIDEO リストが表示されます。

2 DVDにしたい番組をクリックし、DVD 作成(DVD作成)をクリック

「DVD 作成」画面が表示されます。

3 「書き込むメディアの種類」に「DVD±R/RW,CD-R/RW」が表示されているのを確認し、「実行」をクリック

「DVD MovieWriter」が起動します。

チェック

●「ユーザー設定」の画質で録画した番組は、ほかの番組よりもDVDを作るのに時間がかかる場合があります。

●完成したDVDのメニューに表示されるタイトルは、VIDEOリストに表示される番組名よりも短くなる場合があります。

ポイント

複数の番組を1枚のDVDにしたいときは、完成したDVDで最初に再生する番組を選んでください(例:ドラマの1話〜3話をDVDにするときは、1話を選ぶ)。

チェック

はじめてDVD MovieWriterを起動したときには、「ユーザー登録」画面が表示されます。画面の説明を読んで、操作をしてください。

ポイント

複数の番組を1枚のDVDにしたいときは、この画面で「番組を追加する」をクリックして表示される一覧から番組を追加してください。完成したDVDでは、追加した順番に番組が再生されます。

4 用意したディスクをDVD/CDドライブにセットする

5 「メニューテンプレート」から好きなデザインを選び、「マイタイトル」に好きなタイトルを入力後、「次へ」をクリック

6 「次へ」をクリック

7 「レコーディング形式」が「DVDビデオ形式(DVD-R/-RW/+R)」になっていることを確認し、「書き込み」をクリック

自動的に、書き込みが始まります。書き込みが終わると、「操作が完了しました」と表示されます。
後の操作は、画面の説明を読んでおこなってください。

これで、オリジナルDVDの作成は完了です。

DVDのセットのしかた→『準備と設定』第4章の「CD-ROMやDVDの扱い方」

- 画面下に表示されている容量のグラフが4.38(4.70)GBを超えているときは、「DVD1枚に収める」をクリックしてください。自動的に、1枚のDVDに保存できるように映像を変換します。

ただし、映像の画質や時間によっては、1枚のDVDに収められない場合があります。そのときは、書き込む番組数を少なくしてください。

- 書き込みに失敗したディスクは再生できなくなります。書き損じによるディスクの保証はできませんのでご注意ください。

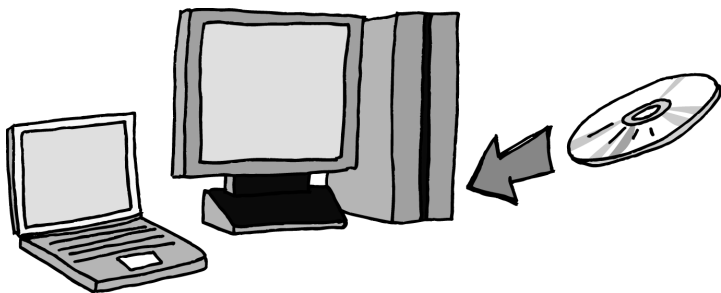
作ったDVDを見る

完成したオリジナルDVDを見てみましょう。

1 「ソフトナビゲーター」の「映像を見る・録る」-「MediaGarage」の「ソフトを起動する」をクリック

MediaGarage が起動します。

2 「DVD/CD」をクリック

3 DVDをDVD/CDドライブにセットする

自動的に再生が始まります。

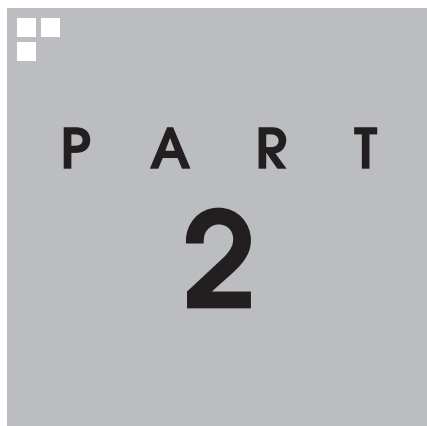
オリジナルDVDは、このパソコン以外に、DVD再生に対応したほかのパソコンや一般のDVDプレーヤで再生できますが、機器によっては再生できない場合があります。詳しくは、各機器のマニュアルをご覧ください。

ポイント

パソコンの電源が入っていれば、リモコンの【DVD/CD】を押しても表示できます。

ポイント

VideoCDは「WinDVD」で再生します。

MediaGarageの使い方→『映像・音楽を楽しむ本』

PART
2

おすすめ機能を使おう

見ている番組をビデオのように巻き戻す「さかのぼり録画」や、キーワードで番組を予約する「おまかせ録画」など、おすすめの便利機能を使ってみましょう。

PART 2
おすすめ機能を使おう

さかのぼり録画をする

うっかり見逃してしまった決定的なシーン、ドラマの山場で突然の電話、そんなときは「さかのぼり録画」で解決。

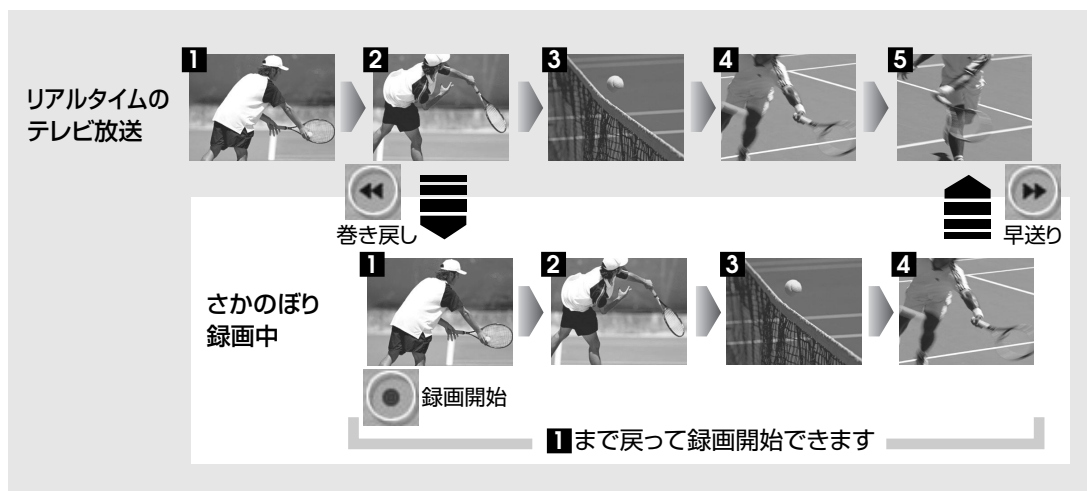
さかのぼり録画って何？

テレビを見ていて、「サッカーのゴールシーンを見逃しちゃった！」「あ、この番組録画しておけばよかった！」なんて経験はありませんか？
でも、もう大丈夫。「タイムシフトモード」なら、今見ている番組を一時停止したり、時間をさかのぼって録画できます。

チェック

- さかのぼり録画や、見ている番組の一時停止をするには、あらかじめSmartVisionを「タイムシフトモード」にしておく必要があります。
- タイムシフトモードで見ていなかった番組については、さかのぼれません。
- さかのぼれる時間は、1分〜90分の間で設定できます（ご購入時の設定では60分です）。
- 録画保存先がDVDのときは、さかのぼり録画できません。

■ さかのぼり録画のしくみ

さかのぼり録画や、見ている番組の一時停止は「タイムシフト」という機能でおこなっています。
「タイムシフト」とは、見ている番組を、パソコンが自動的に録画し続ける機能です。今まで、リアルタイムで見ていた番組も、実はいったん録画してから再生しているので、一時停止やさかのぼりができるのです。
自動的に録画したデータは、設定した時間を過ぎた分から順に削除されていきます。また、SmartVisionを終了するとすべて削除されるので、ハードディスクも無駄になりません。

タイムシフトモードにする

さかのぼり録画をするために、SmartVisionを「タイムシフトモード」にします。ご購入時には、「ライブモード」になっています。

1 プレイモードタブの「タイムシフト」をクリック

画面が暗くなって、タイムシフトモードに切り換わります。「ライブ」をクリックすると「ライブモード」に戻ります。

■ タイムシフトモードの画質

タイムシフトモードでは、表示されるテレビの画質は録画の画質と同じになります。ご購入時の状態では「標準画質」になっているので、画質が悪いと感じたときは、「設定ウィンドウ」の「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」タブの「録画/タイムシフトの画質」で「高画質」に設定を変えてください。

ポイント

タイムシフトモードとライブモードには、それぞれ次の特長があります。

- ●タイムシフトモード:
  録画をしていない番組を一時停止したり、巻き戻したり、さかのぼり録画をしたりできます。
- ●ライブモード:
  さかのぼり録画などの特別な操作はできませんが、パソコンにかかる負担が小さくなります。

チェック

タイムシフトモードでテレビを見ているときに、「録画/タイムシフトの画質」を変更すると、それまでのタイムシフトはクリアされ、戻れなくなります。

見ている番組を操作する

タイムシフトモードで見ている番組は、ビデオのように操作できます。

● 一時停止
(一時停止)をクリックします。もとに戻すときは、(再生)をクリックします。
一時停止できる時間は、ご購入時の状態では60分までです。

● 巻き戻し
(巻き戻し)をクリックします。再生を始めたいところで(再生)をクリックするか、巻き戻せる限界まで巻き戻すと、再生が始まります。
巻き戻せる時間は、ご購入時の状態では60分までです。
(巻き戻し)をクリックするたびに、巻き戻しのスピードが3段階で早くなります※。

● 早送り
(早送り)をクリックします。再生を始めたいところで(再生)をクリックするか、リアルタイムの放送に追いつくと再生が始まります。
(早送り)をクリックするたびに、早送りのスピードが3段階で早くなります※。リアルタイムの放送に追いつくと、(早送り)ボタンは使えなくなります。

※巻き戻し、早送りの速度表示は目安としてご利用ください。

参照

一時停止や巻き戻しできる時間の変更について→オンラインヘルプの「設定」-「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」

さかのぼり録画をする

実際にさかのぼり録画をしてみましょう。

1 (巻き戻し)をクリック

リアルタイムからどのくらい巻き戻しているかが表示されます。

ポイント

巻き戻し中にリアルタイムで放送されているシーンも、カットされないので見逃しはありません。

2 録画を始めたいところより前まで戻ったら、(再生)をクリック

3 録画を開始したい場面で、(録画)をクリック

(録画) を連続してクリックすると、録画時間を設定できます。

ポイント

(録画)をクリックしてから、実際に録画が開始されるまで、少しの間があるので、録画したいシーンよりも少し前から録画を始めることをおすすめします。

4 リアルタイムに追いつきたいときは、(早送り)をクリック

5 録画を終了するときは、(停止)をクリック

録画を終了するときは、手順４の方法でリアルタイムに追いついてから停止することをおすすめします。

さかのぼり録画をする場合、それまでハードディスクに書き込まれていた番組が録画保存されます。このときリアルタイムに受信している番組のハードディスクへの書き込みも同時におこなわれています。そのため、5分巻き戻して録画開始し、30分後に録画を停止させた場合、計35分の録画ファイルが保存されます。ハードディスクの空き容量にご注意ください。

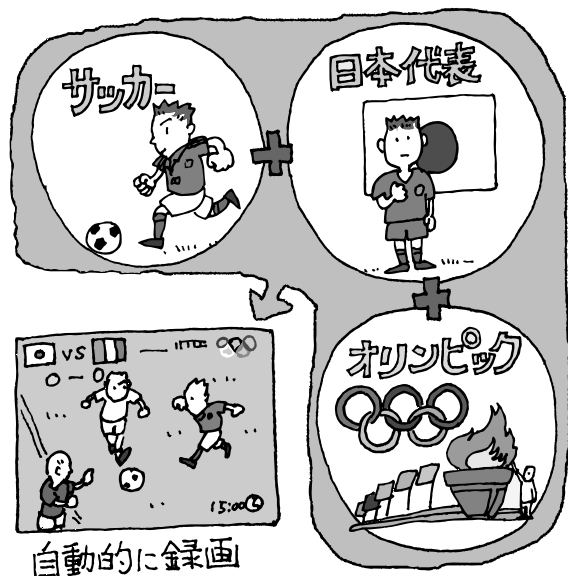
おまかせ録画をする

キーワードから番組を自動的に録画してくれる「おまかせ録画」機能を使ってみましょう。

おまかせ録画って何？

おまかせ録画は、ジャンルやキーワードをあらかじめSmartVisionに登録しておくと、キーワードが入った番組を自動的に探して録画してくれる機能です。
例えば、こんな使い方はどうでしょう？

- 毎週、放送時間が変わってしまう番組や、放送が不定期な番組を録画するとき
  おまかせ録画で、番組名をキーワードにして、ジャンル、放送局を指定して条件を登録します。こうすると、自動的にその番組を録画します。放送時間や放送日程をいちいち確認する必要はありません。
- お気に入りのタレントの出ている番組を録画したいとき
  おまかせ録画で、タレントの名前をキーワードにして、ジャンルや放送局を指定せずに条件を登録します。こうすると、自動的にキーワードに登録したタレントが出ている番組を録画します。

ただし、おまかせ録画で録画した番組の合計が設定した容量以上になると、古い番組から順番に削除されます。残しておきたい番組があるときは、別のフォルダに番組を移動してください。

チェック

- おまかせ録画は、番組表の「番組名」や「詳細情報」に出てくる言葉をキーワードにして番組を探します。そのため、タレント名や番組名を登録しても、番組表の番組名、詳細情報の記載と一致しない場合は録画されません。
- おまかせ録画で録画した番組は、必ずハードディスクに保存されます。DVDに直接保存することはできません。

ポイント

番組名は、番組表に省略されて記載されていることがあります。あらかじめ番組表で確認をして、番組名の一部などをキーワードにすることをおすすめします。

参照

- 番組を移動する→PART1の「録画した番組を削除、整理する」(p.29)
- おまかせ録画について→オンラインヘルプの「使ってみよう(導入編)」-「SmartVisionで録ろう！」-「録画する条件を設定して、おまかせ録画をしよう」

おまかせ録画を登録する

おまかせ録画で録画するために、キーワードなどの条件を登録します。

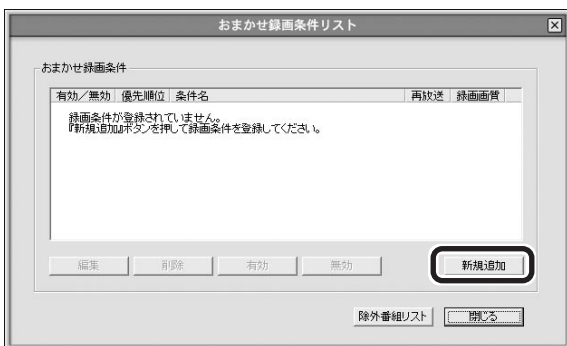
1 **(予約&結果リスト)をクリック**

2 **「予約リスト」タブの おまかせ (おまかせ)をクリック**

「おまかせ録画条件リスト」画面が表示されます。

3 **「新規追加」をクリック**

「条件入力」画面が表示されます。

参照

おまかせ録画で録画できないとき→PART6の「おまかせ録画で番組を録画したり、予約することができない」(p.94)

4 おまかせ録画の条件を登録する

① 登録した条件に名前をつける
登録した条件に名前をつけるときはクリックして☑にし、条件名を入力します。名前をつけない場合は、自動的に名前が登録されます。

② キーワードを入力する
番組のキーワードになる言葉を入力します。キーワードを追加する場合は、「絞り込む」をクリックしてキーワードを追加してください。

③ 番組のジャンルと放送局に関する条件を設定する

④「録画設定」を設定する
おまかせ録画の条件同士で予約が重複したときの優先度と、録画画質を指定します。

⑤ 必要に応じて詳細な設定をする
≫をクリックすると、詳細な検索条件が設定できます。

⑥「候補一覧表示」をクリックする
設定した条件で録画される番組を表示します。ただし、すでに予約している別の番組と重なると、先に予約していた番組の録画が優先されます。
また、条件に一致する番組が予約リストに登録されるのは、放送の二日前です。表示された番組の中で録画したくない番組がある場合は、その番組をクリックして、「番組除外」をクリックします。以後、その番組はおまかせ録画で録画されなくなります。

5 「閉じる」をクリック

「条件入力」画面に戻ります。

ポイント

●□のままの条件はすべてが対象になります(例:「放送局」が□の場合は、すべての放送局が対象)

●「キーワード」、「絞り込む」、「さらに絞り込む」の3つの枠に入れたキーワードすべてに当てはまる番組が録画されます。また、1つの枠には、複数のキーワードを改行で区切って入力できます。その場合は、区切って入れたキーワードのどれかに当てはまる番組が録画されます。

この場合は、次の4パターンの番組がすべて録画されます。

1.「旅・海・沖縄」がキーワードの番組
2.「旅・海・バリ島」がキーワードの番組
3.「旅・グルメ・沖縄」がキーワードの番組
4.「旅・グルメ・バリ島」がキーワードの番組

チェック

●深夜0:00〜6:00頃の番組は前日の曜日として扱われます(例:水曜日の深夜2:00の番組を録画するときは、火曜日を指定します)。

●同じ時間帯に同じ条件の番組が複数あるときは、録画される番組は条件に合った番組の中でランダムに決定されます。シングルチューナTVモデルの場合はどれか1番組、ダブルチューナTVモデルの場合はどれか2番組が録画されます。

参照

このほかのおまかせ録画の条件について→オンラインヘルプの「ボタンと使い方」-「ノーマルモード・アドバンストモード共通」-「ダイアログ」-「おまかせ録画ダイアログ」

6 「登録」をクリック

おまかせ録画の条件が登録されます。

7 「閉じる」をクリック

おまかせ録画した番組を再生する

おまかせ録画で録画した番組は、おてがる録画などで録画した番組とは、別のフォルダに保存されます。

1 (VIDEOリスト)をクリック

VIDEO リストが表示されます。

2 「おまかせ」をクリック

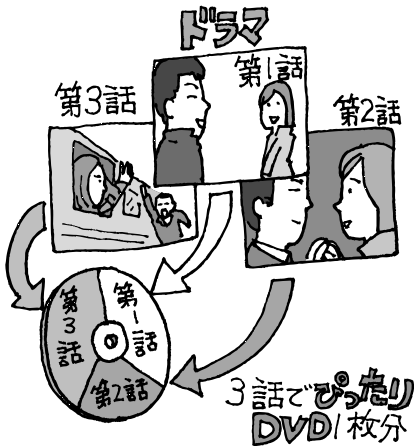
おまかせ録画で録画した番組が表示されます。

これから先は、ほかの録画番組を再生する手順と同じです。
詳しくは、PART1の「再生の方法」(p.26)手順2以降をご覧ください。

PART 2 おすすめ機能を使おう

ぴったり録画をする

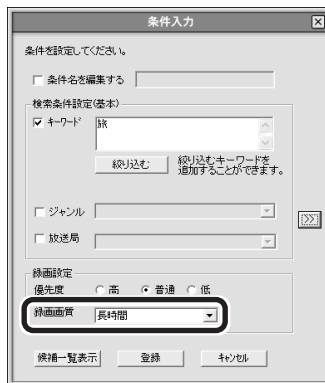
「DVD1枚に収まるように録画したい」というときは、「ぴったり録画」が便利です。

ぴったり録画って何？

DVDに直接録画するときに、録画した番組がDVDに収まらないサイズでは困ってしまいます。ほかにも、「ドラマを3話まとめて1枚のDVDに保存したい」など、録画する番組のファイルサイズを決めて録画したいときは、ぴったり録画を使います。
ぴったり録画では、「DVD１枚分」「DVD１/２枚分」「DVD1/3枚分」などから容量を選んで録画できます。また、「ユーザープロファイル」として、お好みの容量を登録することもできます。

ぴったり録画をする

ぴったり録画は、おてがる予約とおまかせ録画で利用できます。それぞれ、次の画面で画質を選ぶときにぴったり録画の画質を選びます。

●おてがる予約

●おまかせ録画

チェック

- ●ぴったり録画で録画した番組は、指定したファイルサイズに確実に収まるように、指定したサイズよりも少ないサイズで保存される場合があります。
- ●ぴったり録画で指定する「DVD１枚分」は、DVD-R（1層）の4.7Gバイトを意味します。

参照

●おてがる予約について→PART1の「おてがる予約をする（番組表で予約する）」（p.18）
●おまかせ録画について→このPARTの「おまかせ録画をする」（p.39）

好きな録画サイズを登録する

最初から設定されている録画サイズ以外に、「ユーザープロファイル」としてお好みのサイズを10個まで登録できます。

1 (設定)をクリック

「設定ウィンドウ」が表示されます。

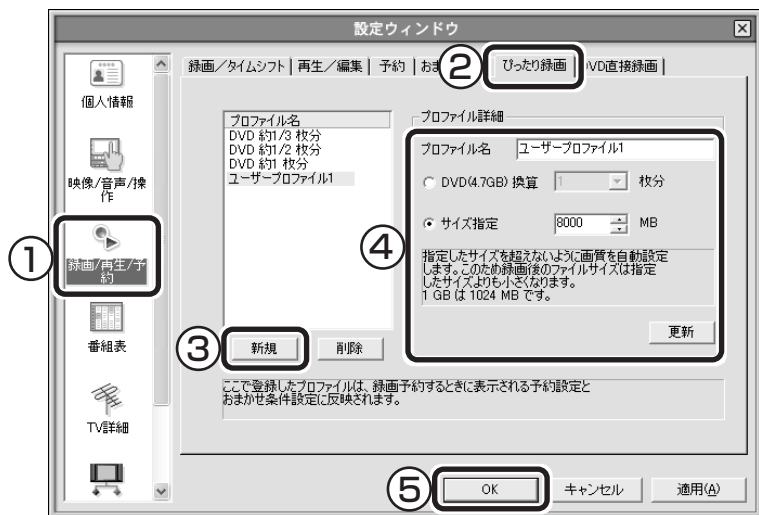
2 ユーザープロファイルを登録する

① 「録画/再生/予約」アイコンをクリック

② 「ぴったり録画」タブをクリック

③ 「新規」をクリック

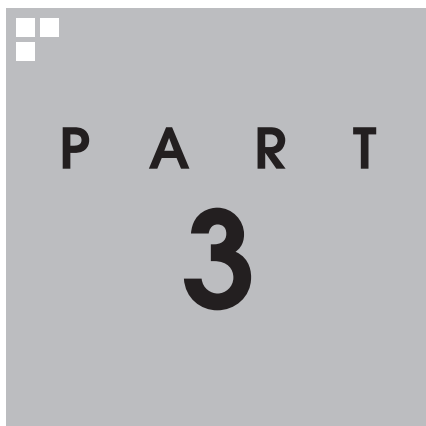
④ プロファイル名と容量を指定して、「更新」をクリック

⑤ 「OK」をクリック
「設定ウィンドウ」が閉じます。

これで、ユーザープロファイルの登録は完了です。登録したプロファイルは、おてがる予約やおまかせ録画で利用できます。

ポイント

- プロファイルを削除するときは、削除するプロファイルを選んで「削除」をクリックし、「OK」をクリックしてください。
- プロファイルの内容を変更するときは、変更するプロファイルを選んで、「プロファイル詳細」を修正した後、「更新」をクリックしてください。

チェック

予約番組で使用されていたり、おまかせ録画の条件として指定されているプロファイルは削除できません。

一歩すすんだテレビ操作

昔録ったビデオをデジタルにしたり、外出先から録画予約をしたり。一歩すすんだ使い方を紹介します。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 3
一歩すすんだテレビ操作

番組を検索して予約する

「今週の番組表から好きな俳優の出ている番組だけを探したい」
こんなときには番組表を検索して、その人が出ている番組だけを一覧で見ることができます。

検索できる番組

番組表のデータから、出演者などのキーワードを指定して番組を検索できます。また、検索した番組を予約することもできます。

番組表のデータがないときは、番組を検索できません。

検索した番組を予約する

1 **(番組表)をクリック**

番組表が表示されます。

2 **検索(検索)をクリック**

3 **検索条件を設定する**

① キーワードを入力する

② ▼をクリックして検索する日付を選ぶ

③ ▼をクリックしてジャンルを選ぶ

4 **検索開始(検索開始)をクリック**

検索が終了したら検索内容に該当する番組の件数が表示されます。

ポイント

キーワードには、出演者や番組タイトルなどを入力してください。
複数のキーワードを入力したいときは、キーワードとキーワードの間にスペースを入力します(「料理　魚」など)。

5 「OK」をクリック

検索結果が画面に表示されます。

検索結果で表示された番組を予約するときは、次の手順をおこなってください。

6 予約したい番組をクリックし（予約）（予約）をクリック

「予約設定」画面が表示されます。

この後の手順は、PART１の「おてがる予約をする」の手順３以降(p.20)をおこなってください。

ポイント

予約したい番組をクリックすると「番組情報」欄に番組の詳細情報が表示されます。

番組表を使わないで予約する

録画予約したい時間までに番組表が受信できないときなど、番組表を使った予約ができないときは、次の手順で予約できます。

1 (予約&結果リスト)をクリック

2 「予約リスト」タブの 新規予約 (新規予約)をクリック

「予約設定」が表示されます。

3 必要に応じて設定をおこない、「OK」をクリック

これで設定は完了です。

ポイント

テレビを見る画面に戻るときは、画面左側の「TV」タブ(ダブルチューナTVモデルの場合は「TV1」タブまたは「TV2」タブ)が選択されていることを確認し、(予約&結果リスト)をクリックして予約&結果リストを閉じてください。

PART 3
一歩すすんだテレビ操作

外出先から録画予約する

SmartVision TV録画予約サービスは、携帯電話やインターネットに接続できるパソコンから、テレビ番組の録画予約ができるサービスです。

こんなときに便利です

外出先で、録画を忘れたことに気が付いた。急な用事で、番組の開始までに家に帰れない。そんなときに、携帯電話や外出先のパソコンからインターネットを通じてテレビ番組の録画予約ができます。

■ BIGLOBEのサービスを利用する方法

次のようなかたに向いています。

●BIGLOBE会員のかた

●iモード機能付きの携帯電話をお使いのかた

●省電力でパソコンを使いたいかた

●必要に応じてパソコンをインターネットに接続しているかた（常時接続していないかた）

この方法では、1日数回、設定した時間のみ予約が反映されます。

■ ドットゲートサービスを利用する方法

次のようなかたに向いています。

●ドットゲートサービスを利用できる環境にあるかた

この方法では、いつでも予約を反映することができます。
ただし、パソコンをインターネットに常時接続しておく必要があります。

■ reserMailを利用する方法（reserMail添付モデル）

次のようなかたに向いています。

●iモード、Vodafone live!、EZwebのいずれかの機能が付いた携帯電話をお使いのかた

この方法では、設定した時間ごとに予約が反映されます。

チェック

録画予約の後にパソコンの電源を切るように設定しているときは、SmartVision TV録画予約サービス（BIGLOBE用）やSmartVision TV録画予約サービス（ドットゲートサービス用）、reserMailを使って外出先から番組を録画予約できないことがあります。

参照

ドットゲートサービスについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「ドットゲートサービス」

Windowsのログオン時のパスワードを設定する

SmartVision TV録画予約サービス(BIGLOBE用)とSmartVision TV録画予約サービス(ドットゲートサービス用)を利用するには、Windowsのログオンパスワードの設定が必要になります。
次の手順で設定をおこなってください。

1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリック

2 「ユーザーアカウント」をクリック

「ユーザーアカウント」画面が表示されます。

3 「アカウントの変更」をクリック

4 パスワードを設定するアカウント(ユーザー名)をクリック

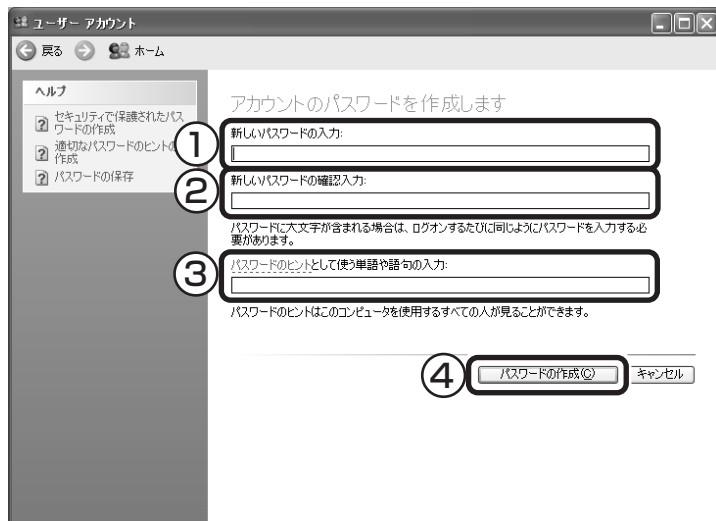
5 「パスワードを作成する」をクリック

6 パスワードを設定する

① 「新しいパスワードの入力」欄にパスワードを入力

② 「新しいパスワードの確認入力」欄に①と同じパスワードを入力

③ 必要に応じて、「パスワードのヒントとして使う単語や語句の入力」欄にパスワードのヒントになる単語や語句を入力

④ 「パスワードの作成」をクリック

7 「ファイルやフォルダを個人用にしますか?」と表示されたら「はい、個人用にします」をクリック

8 「ユーザーアカウント」画面を閉じる

これで、設定は完了です。

チェック

パソコンを複数ユーザーで使っているときや、シングルユーザーでパスワードを設定している場合は、電源を切った状態から録画予約を実行することはできません。

SmartVision TV録画予約サービス(BIGLOBE用)

SmartVision TV録画予約サービス(BIGLOBE用)は、iモードや外出先のパソコンからテレビ番組の録画予約をおこなうサービスです。

■ サービスご利用時の注意

SmartVision TV録画予約サービス(BIGLOBE用)を利用するときは、次のことに注意してください。

- ●モデムやLAN、ISDNターミナルアダプタを利用したインターネット接続環境が必要です。
- ●この機能を利用するには、管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンしてから省電力状態にしてください。また、予約機能を利用するために、Windowsのログオンパスワードの設定とSmartVisionのパスワードの設定が必要です。
- ●BIGLOBE にアクセスするための電話料金とプロバイダ料金および、iモード携帯電話のパケット通信料はお客様のご負担となります。
- ●SmartVision TV録画予約サービス(BIGLOBE用)を利用するには、あらかじめパソコンを省電力状態にしておく必要があります。

■ 申し込みと準備

1 BIGLOBEに入会する

SmartVision TV 録画予約サービス(BIGLOBE 用)を利用するには、BIGLOBE に入会している必要があります。

2 サービスの申し込みをする

BIGLOBE へのサービスご利用申し込み(ユーザー登録)は、インターネットでおこないます(無料)。

SmartVision TV 録画予約サービスのホームページ(http://wakeup.cplaza.ne.jp/wapi/info/index.html)にアクセスし、説明をよくご覧になり申し込んでください。

3 パソコンの設定をおこなう

パソコンが定期的に休止状態(または、スタンバイ状態)から復帰して、BIGLOBEのサーバと予約情報のやりとりをするように、パソコンを設定する必要があります。

また、テレビ番組表を使って録画予約をする場合は、自宅のパソコンにテレビ番組表を受信しておく必要があります。

設定は「SmartVision TV 録画予約サービスクライアント」の「TV 録画予約クライアント設定」でおこないます。詳しくは、「SmartVision TV 録画予約サービス取扱説明書」をご覧ください。

これで準備は完了です。

参照

Windowsのログオンパスワードについて→ 「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「複数の人で1台のパソコンを使う」-「パスワードを設定する」

ポイント

SmartVisionのパスワードは、SmartVisionの(設定)をクリックし、「設定ウィンドウ」の「個人情報」アイコンをクリックして表示される画面で、Windowsのログオンパスワードと同じパスワードを設定します。

チェック

BIGLOBEの法人会員のかたはご利用になれません。また、すでにBIGLOBE以外のインターネットプロバイダとご契約されている場合は、月額基本料金無料のBIGLOBE「コンテンツコース」でご利用が可能です。

チェック

SmartVision TV 録画予約サービスクライアント(BIGLOBE用)は、ご購入時にはインストールされていません。ソフトナビゲーターで「TV録画予約(BIGLOBE)」を選んでインストールしてください。

参照

「SmartVision TV 録画予約サービス取扱説明書」について→「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision TV録画予約サービスクライアント」-「SmartVision TV録画予約サービス取扱説明書」

■ サービスを利用する

サービスを利用するには、パソコンを省電力状態にして外出します。

1 外出先から録画予約のページにアクセスする

iモード携帯電話やパソコンを使って、外出先で「SmartVision TV録画予約 ユーザ認証」のページ（利用申し込み時に発行される専用のURLです）にアクセスします。アクセスキーを入力すると表示されるメインメニューで録画予約をおこないます。

2 パソコンが自動的にBIGLOBEのサーバにアクセスし、予約を確認する

「TV録画予約クライアント設定」で指定した時刻になると、自宅のパソコンが自動起動し、BIGLOBEのTV録画予約サーバにアクセスして録画予約情報をダウンロードします。

予約が入っていた場合、予約内容のとおりにパソコンが番組を録画します。

チェック

「TV録画予約クライアント設定」で設定した時刻に予約をチェックするため、設定した時刻より後に外出先から予約した番組は録画されません。
また、録画予約をしてもしなくてもパソコンからBIGLOBE にアクセスしますので、その分の電話料金やプロバイダ料金が別途かかります。

SmartVision TV録画予約サービス（ドットゲートサービス用）

SmartVision TV録画予約サービス（ドットゲートサービス用）は、携帯電話や外出先のパソコンからテレビ番組の録画予約をおこなうサービスです。
このサービスを利用すると、自宅のパソコンのSmartVisionを利用して、いつでも録画予約ができます。

■ サービスご利用時の注意

SmartVision TV録画予約サービス（ドットゲートサービス用）を利用するときは、次のことに注意してください。

- この機能を利用するために、Windowsのログオンパスワードの設定が必要です。
- ドットゲートサービスをご利用になれる環境が必要です。
  - ・コンピュータの管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンしてあること
  - ・インターネットへ常時接続していること
  - ・常時パソコンの電源を入れておくこと

チェック

ドットゲートサービスの利用中にユーザーを切り替えて別のユーザーアカウントでサービスを利用しないでください。

■ 準備する

1 パソコンの設定をおこなう

お使いのパソコンを、ドットゲートサービスが利用できるように設定します。詳しくは、「ドットゲートサービス設定ツール」をご覧ください。

参照

「ドットゲートサービス設定ツール」について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「ドットゲートサービス」-「はじめ方」

■ サービスを利用する

サービスを利用するには、パソコンをドットゲートサービスを利用できる状態にして外出します。

1 外出先からドットゲートサービスを利用してアクセスする

iモード携帯電話やパソコンを使って、外出先から自宅のパソコンにドットゲートサービスを利用してアクセスします。「TV録画予約」を選んで、録画予約をおこないます。

2 パソコンが自動的に録画を開始する

予約した時間になると、パソコンが録画を開始します。

reserMail(reserMail添付モデル)

reserMail は、iモード、Vodafone live!、EZweb、またはインターネットのテレビ番組ガイド「TVnano/番組サーチ」を使って、外出先から録画予約をするソフトです。
reserMailをご利用になるには、ユーザー登録が必要です。

携帯電話からの録画予約サービスは有料となります。

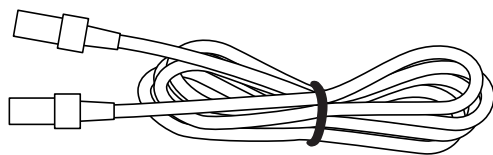
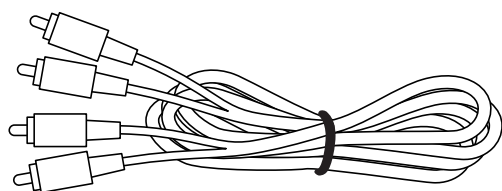
reserMailについて→「スタート」-「すべてのプログラム」-「reserMail for NEC」-「reserMail 取扱説明書」

PART 3 一歩すすんだテレビ操作

ビデオデッキやアナログビデオカメラの映像を録画する

このパソコンでは、ご家庭のビデオデッキやアナログビデオカメラと接続して、その映像をパソコンのハードディスクに録画できます。

用意するもの

パソコンを接続する機器によって必要なものが異なります。市販のS映像用ケーブル(または映像用ケーブル)と市販の音声用ケーブルを使って接続します。

S映像用ケーブル(または映像用ケーブル)

音声用ケーブル(ピンプラグ×2、ピンプラグ×2)

チェック

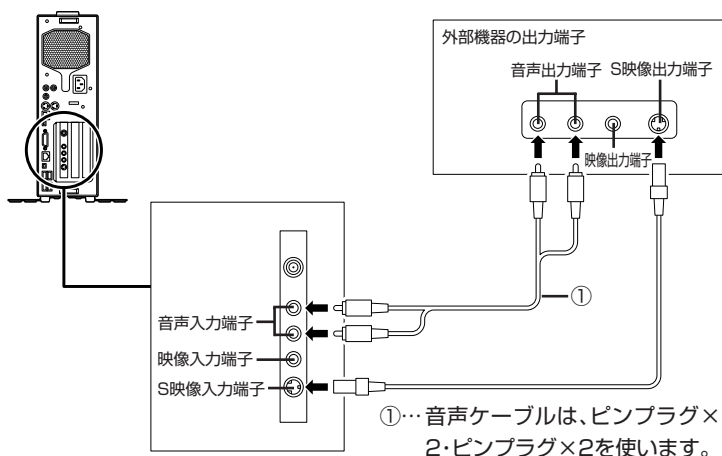
- コピー制御信号が含まれている映像を録画したり、静止画をキャプチャすることはできません。コピー制御信号が検出された場合、自動的にライブモードに切り換わります。
- VALUESTARでは、SmartVisionの映像を外部の機器に録画することはできません。
- CATVのホームターミナルも同じように接続します。

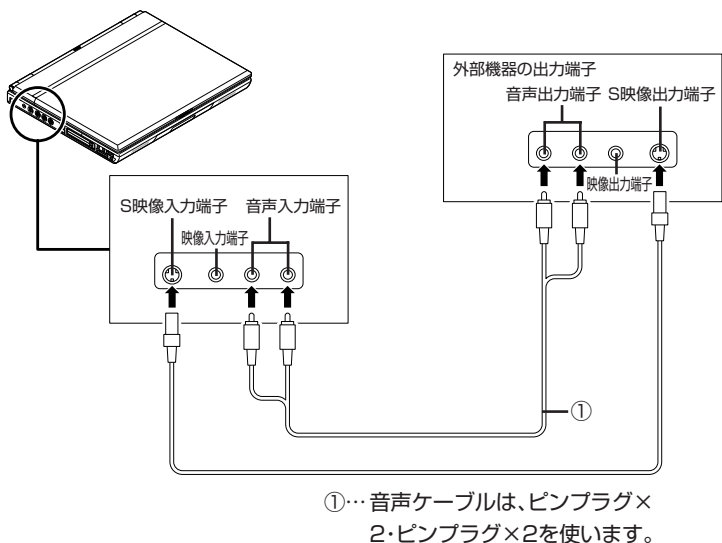
接続する

機器の出力端子とパソコンの入力端子を接続して、機器の映像をSmartVisionで録画します。
お使いの機種により、接続する端子の位置は異なります。「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「各部の名称と役割」をご覧になり、接続してください。

チェック

- 外部接続機器の音声出力から音声を取り込むときは、外部接続機器の「出力レベル」を確認して接続してください。
- パソコンのライン入力レベルより外部接続機器の音声レベルが大きいときは、接続方法を外部接続機器メーカにお問い合わせください。
また、接続するオーディオケーブルに「抵抗入り」ケーブルを使用すると、パソコンに音声が出力されないことがあります。この場合は、「抵抗なし」のケーブルを使用することで、パソコンに音声が出力されるようになることがあります。
「抵抗なし」、「抵抗入り」のケーブルについて詳しくは、お近くの販売店にご相談ください。

■ VALUESTARの例

VALUESTAR Wの端子は、ケーブルカバーを開けた本体左側面にあります。ケーブルを接続した後は、保護のためにケーブルカバーを取り付けてください。

■ LaVieの例

チェック

お使いの機種によりボードや端子の位置は異なります。

ポイント

S映像用ケーブルの代わりに、パソコンの映像入力端子と外部機器の映像出力端子に映像ケーブルを接続して使うこともできます。

チェック

お使いの機種により端子の位置は異なります。

ポイント

- S映像用ケーブルの代わりに、パソコンの映像入力端子と外部機器の映像出力端子に映像ケーブルを接続して使うこともできます。
- S映像出力端子(S)にS映像入力端子付きのテレビを接続できます。

詳しくは、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「表示機能」-「外部ディスプレイと連携させる」をご覧ください。

ビデオの映像を録画する

ここでは例として、ビデオデッキの映像をSmartVisionで録画する方法を説明します。

1 (ビデオ入力)をクリック

録画したデータを後で編集する場合は、録画する画質の確認が必要です。「設定ウィンドウ」の「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」タブで画質を選んでください。

2 ビデオデッキでビデオを再生する

ビデオの映像が表示されます。

3 (録画)をクリック

ビデオの録画が始まります。

4 録画を終了するときは(停止)をクリック

■ 録画ファイルのプロパティを変更する

録画した映像の番組名や詳細情報、ジャンルなどを変更したいときは、次の手順をおこなってください。

1 (VIDEOリスト)をクリック

2 変更したい番組を選んで(プロパティ)をクリック

「プロパティ」が表示されます。

3 変更したい情報を修正して「OK」をクリック

これで、番組情報が変更されます。

■ 録画したデータの利用

ここで録画したデータは、SmartVisionで録画した番組と同じように扱えます。
ホームビデオから録画した映像を編集してDVDにしたり、いろいろな楽しみ方ができます。

チェック

コピー制御信号が含まれている映像を録画したり、静止画をキャプチャすることはできません。コピー制御信号が検出された場合、自動的にライブモードに切り換わります。

参照

画質について→PART1の「録画の画質とハードディスク容量について」(p.21)

ポイント

ビデオの映像を録画するときも、テレビと同じようにタイムシフト機能が使えます。詳しくは、PART2の「見ている番組を操作する」(p.37)をご覧ください。

参照

映像の編集、DVD作成→PART4の「番組を編集してDVD-Videoにする」(p.64)

静止画をキャプチャする

SmartVisionに表示されている映像を静止画にしてパソコンに取り込むことができます。

1 「画面モード切換タブ」の アドバンスト（アドバンスト）をクリック

「アドバンストモード」になります。

2 「シーン‥」タブをクリック

シーンインデックスが表示されます。

3 静止画キャプチャ（静止画キャプチャ）をクリック

クリックした時点での映像が保存されます。

ご購入時の状態では、「C :¥Documents and Settings¥AllUsers¥Documents¥SV Video¥Capture」に保存されます。
パソコンに取り込むことのできる静止画サイズは、SmartVision のモードや録画した番組の画質によって異なります。タイムシフトモード時の画質は、「設定ウィンドウ」-「録画/ 再生/ 予約」-「録画/タイムシフト」タブの「録画/タイムシフトの画質」で設定した画質になります。

ライブモード	320×240ドット
超長時間録画データ	720×480ドット
長時間録画データ	720×480ドット
標準画質録画データ	720×480ドット
高画質録画データ	720×480ドット
ユーザー設定録画データ	設定によって異なります

チェック

LaVie Tをご利用の場合、ご購入時の状態では、静止画キャプチャができません。この機能を利用するには、設定の変更が必要です。設定の変更方法は、付録の「LaVie Tのテレビ機能について」(p.107)をご覧ください。

ポイント

画面サイズによっては、「シーン‥」タブは次のように表示されます。

ポイント

- キーボードの【C】を押しても静止画キャプチャできます。
- タイムシフトモードにして（一時停止）にするとキャプチャしやすくなります。

チェック

取り込んだ静止画は、実際に表示されている画面と異なる縦横比率になることがあります。この場合は、ペイントなどの静止画編集ソフトを使用して縦横比率を修正してください。

PART 3
一歩すすんだ
テレビ操作

字幕放送を見る

番組表で字のマークが付いている番組では、字幕放送を見ることができます。

字幕放送はライブモード時のみ表示されます。
字幕放送が始まると、自動的に字幕が表示されます。字幕放送が終わると、自動的に字幕も表示されなくなります。

1 (設定)をクリック

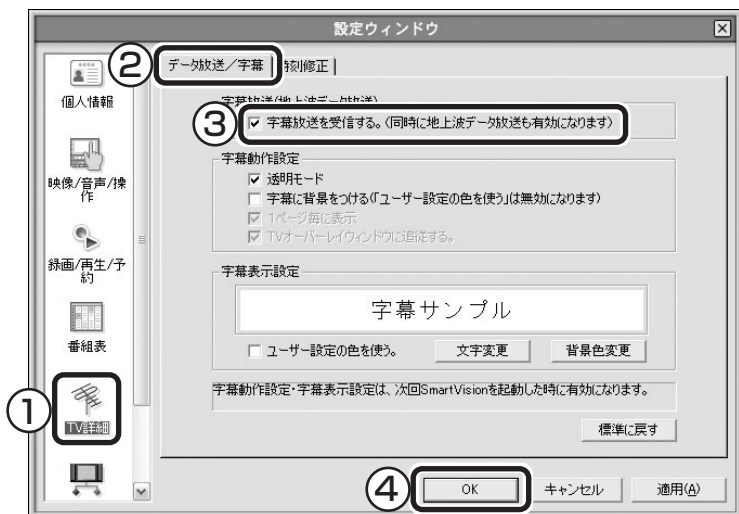
「設定ウィンドウ」が表示されます。

2 字幕放送を受信する設定にする

① 「TV詳細」アイコンをクリック

② 「データ放送／字幕」タブをクリック

③ 「字幕放送を受信する。」の左をクリックして☑にする

④ 「OK」をクリック

ライブモードで字幕を受信する設定をおこなうと、画面右下の通知領域に字が表示されます。この表示がされている状態で字幕放送がおこなわれている番組にチャンネルを合わせると、字幕が表示されます。

チェック

- 「設定ウィンドウ」で字幕を受信する設定にしても、字幕が表示されない場合は、通知領域の字をクリックして表示されるメニューで「字幕表示」にチェックを付けてください。
- 字幕放送を受信する設定にしていると、ウイルスバスターなどのセキュリティソフトがリアルタイムにファイルスキャンをおこなうことがあります。この影響で、画面が乱れる(コマ落ちする)ことがあります。

参照

画像が乱れたときの対応方法→PART6の「映像が乱れる(コマ落ちする)」(p.90)

予約実行後の動作を設定する

予約視聴、予約録画が終わった後、自動的に省電力状態にしたり、電源を切ったりできます。

1 (設定)をクリック

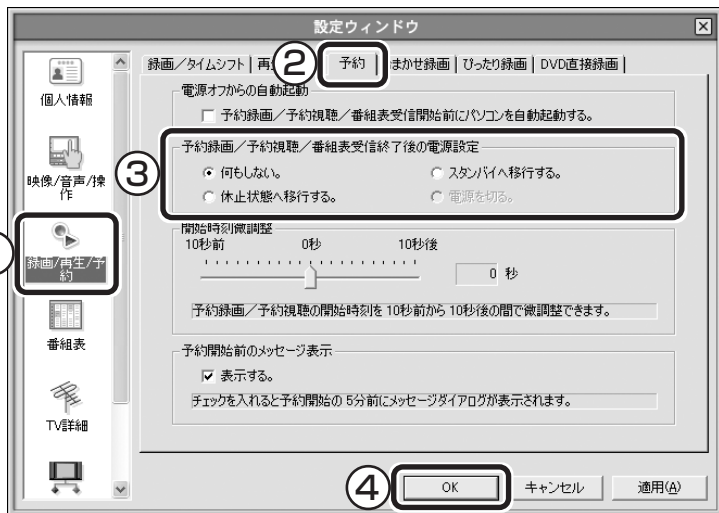
「設定ウィンドウ」が表示されます。

2 パソコンの電源設定を設定する

① 「録画/再生/予約」アイコンをクリック

② 「予約」タブをクリック

③ 「予約録画/予約視聴/番組表受信終了後の電源設定」欄から電源設定を選んで にする
「何もしない。」以外を にした場合、予約の実行が終わった後、確認画面が表示されます。ここで何も操作しないと1分後に設定した電源状態になります。
「何もしない。」を選ぶと、パソコンで設定している省電力の設定どおりに動作します。

④ 「OK」をクリック

これで、予約録画や予約視聴が終わると、設定した動作をするようになります。

参照

省電力状態について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「省電力機能」

ポイント

予約録画終了の時点でテレビを見ている場合や、もともとテレビを見ているときに予約視聴が開始された場合は、予約録画や予約視聴の終了時に確認画面が表示されず、そのままテレビを利用できます。

シングルユーザーで、パスワードを設定していない場合は、録画・視聴予約後に電源を切ることができます。p.59の手順2で「予約録画/予約視聴/番組表受信開始前にパソコンを自動起動する。」のチェック欄を☑にしてください。予約した時刻の前にパソコンが自動起動して、予約が実行されます。

	設定可能なパソコンの電源状態		
	スタンバイ状態	休止状態	電源切
シングルユーザー パスワードあり	○	○	×
シングルユーザー パスワードなし	○	○	○
複数ユーザー パスワードあり	○	○	×
複数ユーザー パスワードなし	○	○	×

インスタント機能搭載モデルでは、録画予約をおこなった後、電源の状態がスタンバイ状態または休止状態になるように設定していると、その間インスタント機能で起動することができません。

PART 3
一歩すすんだテレビ操作

視聴予約をする

視聴予約をすると、設定した時間に、予約した番組が表示されます。

1 （番組表）をクリック

2 番組表から予約する番組を決めて（予約）をクリック

3 「実行モード」欄の「視聴」をクリックしてにする

4 必要に応じてその他の設定を変更し「OK」をクリック

5 （番組表）をクリック

テレビ画面に戻ります。

これで、視聴の予約ができました。

予約について→PART1の「おてがる予約をする」（p.19）

■ 予約視聴の時間までパソコンを使わないときは

予約視聴の時間までパソコンを省電力状態にしたり電源を切ったりするときは、次の設定をおこなってください。1度おこなえば、毎回設定する必要はありません。

1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリック

2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリック

3 「電源オプション」をクリック

「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。

4 「詳細設定」タブの「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」を□にして「OK」をクリック

5 「パフォーマンスとメンテナンス」を閉じる

6 「スタート」-「コントロールパネル」をクリック

7 「デスクトップの表示とテーマ」をクリック

8 「スクリーンセーバーを選択する」をクリック

「画面のプロパティ」が表示されます。

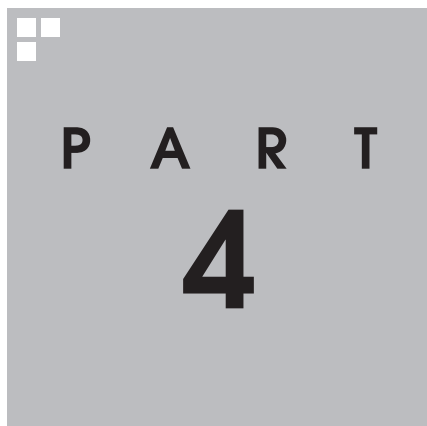
9 「パスワードによる保護」が☑になっているときは、クリックして□にし、「OK」をクリック

10 「デスクトップの表示とテーマ」を閉じる

これで設定は完了です。

この設定を変更するには、パソコン起動時に、コンピュータの管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンしてください。制限付きユーザーアカウントやGuestアカウントでは手順4で設定を変更できません。

チェック

複数ユーザーでユーザーの簡易切り替えを使用しているときは、「パスワードによる保護」が「再開時にようこそ画面に戻る」になっています。同じようにクリックして□にしてください。

録画番組の編集・利用

録画した番組を編集すれば、好きなシーンだけを集めたベスト版を作ることも。さらに映像を変換して、携帯電話で見られるようにもできます。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 4 録画番組の編集・利用

番組を編集してDVD-Videoにする

動画編集やDVDのタイトルメニューを使って、市販のDVDのような作品を作ることができます。

編集でできること

このパソコンでは、録画した番組からいらない場面をカットしたり、複数の番組から欲しいところだけをつなぎ合わせてベスト映像を作ったりできます。
さらに、編集したデータをもとにタイトル画面やチャプタメニューの付いたDVDに加工することも。

■ 簡易編集について

ここでは、DVD MovieWriterを使った編集のしかたを紹介します。SmartVisionでも、アドバンストモードの「簡易編集」機能を使って、いらない場面のカットができます。

ポイント

録画した番組をおてがるにDVDにしたいときは、編集やタイトル作成をしないでDVD作成することができます。

参照

おてがるにDVDを作る→PART1の「録画した番組でオリジナルDVDを作る」(p.31)

チェック

- ハードディスクの空き容量が不足していると、簡易編集ができません。ハードディスクの空き容量を増やす方法については、PART1の「録画した番組を削除、整理する」(p.29)または「サポートナビゲーター」-「解決する」-「Q&A一覧」-「ハードディスク」をご覧ください。
- LaVie Tをご利用の場合、ご購入時の状態では、簡易編集ができません。この機能を利用するには、設定の変更が必要です。設定の変更方法は、付録の「LaVie Tのテレビ機能について」(p.107)をご覧ください。

参照

簡易編集について→オンラインヘルプの「使ってみよう（導入編）」-「SmartVisionで編集しよう!」-「いらないシーンは切り取って欲しいとこだけ残そう」

■ DVDの種類

書き込みができるDVDやCDには、いくつかの種類があります。また、書き込み形式にも3種類があり、それぞれ特徴があります。
搭載しているDVD/CDドライブによって利用できるディスクが異なるので、お使いのモデルでどのディスクが使えるかをあらかじめ確認しておいてください。
通常、録画した番組をDVDにするときは、DVD-R(1層)を使ってDVD-Video形式で書き込むことをおすすめします。

● 書き込み可能なDVDディスクの種類

ディスクの種類	容量	書き替え	書き込み形式	特徴
DVD-R	4.7Gバイト	×	DVD-Video	現在、もっとも普及している。市販のDVDと同じDVD-Video形式で記録でき、多くのパソコンやDVDプレーヤで再生できる。
DVD-R(2層)	8.5Gバイト	×	DVD-Video	DVD-Rの容量が増したもの。対応していないパソコンやプレーヤでは再生できない。
DVD-RW	4.7Gバイト	○	DVD-Video	データの書き替えができる。DVD-Video形式での記録ができる。
DVD+R	4.7Gバイト	×	DVD-Video	市販のDVDと同じDVD-Video形式で記録でき、多くのパソコンやDVDプレーヤで再生できる。
DVD+R(2層)	8.5Gバイト	×	DVD-Video	DVD+Rの容量が増したもの。
DVD+RW	4.7Gバイト	○	DVD+VR	データの書き替えができる。DVD+VR形式での記録ができる。
DVD-RAM(片面)	4.7Gバイト	○	DVD-VR	データの書き替えができる。
DVD-RAM(両面)	9.4Gバイト	○	DVD-VR	両面に記録できるDVD-RAMディスク

● DVDの書き込み形式の種類

書き込み形式	特徴
DVD-Video	市販のDVDと同じ形式。多くのDVD再生可能なパソコンやDVDプレーヤで再生できる。
DVD-VR	DVDレコーダーなどで使われている形式。記録した後でもデータの編集ができる。対応していないパソコン、DVDプレーヤでは再生できない。
DVD+VR	多くのDVD再生可能なパソコンやDVDプレーヤで再生できる。また、記録した後でもデータの編集ができる。

チェック

- CD-R/RW with DVD-ROMドライブを搭載したモデルでは、DVDに保存することはできません。その場合は、CD-RにVideoCDとして保存されます。また、CD-R/RW with DVD-ROMモデル以外のモデルでは、SmartVisionのVIDEOリストからVideoCDを作成することはできません。
- このパソコンで記録したディスクが、ほかのパソコンや一般のDVDプレーヤで再生できるかどうかは、パソコンやプレーヤの対応によって異なります。詳しくは、各パソコン、プレーヤのメーカにお問い合わせください。

参照

利用できるディスクについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「DVD/CDドライブ」

編集してDVD-Videoを作る

録画した番組を編集してDVDにします。ここでは例として、番組からいらない部分をカットして、DVD-R(1層)にDVD-Video形式で保存する方法を説明します。

1 (VIDEOリスト)をクリック

VIDEO リストが表示されます。

2 保存したい番組をクリックし、DVD 作成(DVD作成)をクリック

「DVD 作成」画面が表示されます。

3 書き込む番組とメディア(ディスク)の種類を確認する

① 書き込む番組名を確認する

② ▼をクリックし、書き込むメディア(ディスク)の種類を選ぶ

③「実行」をクリック

「メニュー作成」画面が表示されます。

ポイント

保存したい番組が複数あるときは、【Ctrl】を押しながらクリックすると選べます。

ポイント

番組を追加したいときは、「番組を追加する」タブをクリックして表示される画面で追加します。

4 「戻る」をクリック

「メディアを追加 / 編集」画面が表示されます。

5 再生順を変えたい番組の画像をドラッグ& ドロップ

これで、DVDにしたときの番組の再生順が変わります。

6 画面左の ≚ をクリック

「メディアを編集」が表示されます。

7 編集する番組を下の一覧からクリックして、「ビデオのカット編集」をクリック

「ビデオのカット編集」画面が表示されます。

ポイント

番組の編集をおこなわず、メニューだけを作ってDVDにする場合は、手順4をおこなわずに手順11に進むと手間が省けます。

チェック

DVDにしたときの再生順を変えたいときは、手順5で再生順を変えてください。

ポイント

SmartVisionの「設定ウィンドウ」で「映像/音声/操作」-「TV音声」-「二ヶ国語放送」を「主+副音声」に設定して録画した二か国語番組をDVDにする場合、番組の画像を右クリックして「オーディオをエクスポートするモード」-「L+Rを分割」を選ぶと、二か国語を別々の音声トラックに収録したDVDを作成できます。

8 映像のいらない部分をカットする

① 「自動CM検出」をクリック
自動的に、映像の変わり目が検出されます。

② 画面下の一覧から、必要のない場面をクリック

③ をクリック
選んだ映像が削除されます。

④ いらない部分すべてについて、②〜③を繰り返し、終わったら、「OK」をクリック
手順7の画面に戻ります。

9 手順7〜手順8を繰り返して、すべての番組からいらない部分を削除する

10 「次へ」をクリック

手順４の画面に戻ります。

「自動CM検出」は、映像の変わり目や、音声の切り換わりから、場面の転換を自動的に検出します。そのため、映像によっては期待した効果が得られない場合があります。

ポイント

- 「自動CM検出」を使わずに、 を使って、映像の中から残したい場所だけを選んで残すこともできます。
- DVD MovieWriterでは、ほかにも、映像にチャプタを付けたり、文字や音楽を合成したりできます。

参照

DVD MovieWriterの詳しい使い方→画面下の をクリックして表示されるDVD MovieWriterの「ユーザーマニュアル」

11 DVDを再生したときに表示されるメニューのデザインを編集する

① 使いたいメニューのデザインをクリック

② ここをダブルクリックして表示される画面で、DVDのタイトルを入力

③ ここをダブルクリックして表示される画面で、それぞれの番組のタイトルを入力

④ メニューの編集が終わったら、「次へ」をクリック
「プレビュー」画面が表示されます。

> **ポイント**
>
> 「メニューテンプレート」の をクリックすると、さらに多くのメニューが選べます。

> **チェック**
>
> ●メニューには、自動的に番組名がタイトルとして入力されています。タイトルがほかのタイトルや映像に重なってしまうときは、改行したり、ドラッグ＆ドロップしてタイトルの位置を変えたりしてください。
>
> ●メニューが2ページ以上になっているときは、 でページを切り換えてそれぞれに入力してください。

12 (再生)をクリックして、内容を確認し、問題がなければ「次へ」をクリック

この画面で、できあがりのDVDの動作を確認できます。なおしたいところがあるときは、「戻る」をクリックします。

「次へ」をクリックすると「出力」画面が表示されます。

13 何も記録されていないDVD-R(1層)ディスクをDVD/CDドライブにセットする

> **チェック**
>
> ほかのディスクを使うときは、画面下の をクリックして表示される「ユーザーマニュアル」を見て操作してください。

14 「レコーディング形式」が「DVDビデオ形式(DVD-R/-RW/+R)」になっていることを確認して、「書き込み」をクリック

メッセージが表示されたときは「OK」をクリックしてください。書き込みが始まります。

これで、DVDが作成されます。後の操作は、画面の説明を読んでおこなってください。

■ DVD MovieWriterでDVD形式のビデオデータを扱うときの注意

DVD MovieWriterでDVD形式のビデオデータを扱うときは、次のことを注意してください。

●DVD-R/RW、DVD+R/RWに保存する場合、映像の画質(ビットレート)などにより、記録できる時間は異なります。

●デジタルビデオカメラからキャプチャ時に、オーディオの設定でLPCM(リニアPCM)を選んだ場合、もとのMPEG2ファイルよりも20%程度容量が増加することがあります。

●DVD-R/RW、DVD+R/RWにビデオを保存すると、空き容量が残っていてもそのディスクには追加保存できません。

●DVD-R/RW、DVD+R/RWに保存したビデオは、家庭用DVDプレーヤやDVD-ROMドライブ搭載のパソコンで再生できますが、一部のDVDプレーヤ、DVD-ROMドライブでは再生できないことがあります。また、ディスクやプレーヤの状態により再生できないことがあります。

●ディスクの状態(記録メディアの特性、キズ、汚れなど)や、ドライブの状態などによっては、正常に書き込みできない場合があります。

●使用するディスクによっては、最高速度で書き込み、読み込みができない場合があります。

●作成したDVD-R(2層)ディスクについては、当社製パソコンに搭載されているDVD-R(2層)対応ドライブでのみ読み出しが可能です。

●画面下に表示されている容量のグラフが4.38(4.70)GBを超えているときは、「DVD1枚に収める」をクリックしてください。自動的に、1枚のDVDに保存できるように映像を変換します。

ただし、映像の画質や時間によっては、1枚のDVDに収められない場合があります。そのときは、書き込む番組数を少なくしてください。

●書き込みに失敗したディスクは再生できなくなります。書き損じによるディスクの保証はできませんのでご注意ください。

作成したDVD-Video、VideoCDを再生する前にDVD MovieWriterを終了してください。

■ DVD MovieWriterでVideoCDとして保存するときの注意

DVD MovieWriterでVideoCDとして保存するときは、次のことを注意してください。

●CD-R/RWに保存できる映像は、約60分です。保存する内容により、記録できる時間は短くなることがあります。

●CD-R/RWにビデオを保存すると、空き容量が残っていてもそのディスクには追加保存できません。

●CD-R/RWに保存した場合、一部の家庭用DVD/VideoCDプレーヤでは再生できないことがあります。

■ アナログキャプチャ時の注意(外部機器からの映像取り込み)

DVD MovieWriterでアナログキャプチャをおこなった場合、キャプチャ終了後もビデオ入力の音声が流れ続ける場合があります。その場合は、外部機器の停止ボタンを押すことで音声は停止します。

番組をDVD-RAMに保存する

番組をDVD-RAMに保存する方法は、2種類あります。

DVD-RAMについて

DVD-RAMは、記録した内容を削除して繰り返し使える書き込み型DVDです。
DVD-RAMに録画した番組を保存するときは、DVD-VR形式になります。
このパソコンでDVD-RAMに保存するには、次の2とおりの方法があります。

●DVD-RAMに直接録画する(p.74)
●ハードディスクに録画した番組をDVD-RAMに保存する(p.75)

DVDの種類について→このPARTの「編集でできること」(p.64)

■ DVD-RAMのフォーマット

番組を保存するDVD-RAMは、SmartVisionでUDF形式(UDF2.0)のフォーマットをする必要があります。
次の手順でフォーマットをしてください。

フォーマットすると、DVD-RAMに保存されていたデータはすべて削除されます。

1 DVD/CDドライブにDVD-RAMをセットする

2 (設定)をクリック

3 DVD-RAMをフォーマットする

① 「録画/再生/予約」アイコンをクリック

② 「DVD直接録画」タブをクリック

③ 「フォーマット」をクリック
「DVDディスクフォーマット」画面が表示されます。

4 「開始」をクリック

確認の画面が表示されるので、「はい」をクリックすると、フォーマットが始まります。

フォーマットが終わったら画面の表示を見て操作してください。これでDVD-RAMのフォーマットは完了です。

チェック

「物理フォーマットを実行する」を☑にすると、フォーマットに60分〜90分かかります。通常の使用では、物理フォーマットを実行する必要はありません。

DVD-RAMに直接録画する

番組をDVD-RAMに直接録画できます。

■ おてがる予約の場合

1 DVD/CDドライブにDVD-RAMをセットする

2 「おてがる予約をする」(p.19)の手順3で、「保存先」を「DVD」にする

これで、DVD-RAMへ直接録画されます。

■ 見ている番組を録画する場合

1 録画したい番組を表示する

2 DVD/CDドライブにDVD-RAMをセットする

3 DVD(DVD)をクリック

この後の手順は、PART1の「今見ている番組を録画する」(p.8)をご覧ください。

チェック

- おまかせ録画では、DVD-RAMに直接録画できません。
- DVD-RAMに直接録画をしているときは、ライブモードのみ利用できます。
- 画質を「ユーザー設定」にするときは、ビットレートを8Mbps以下にしてください。9Mbps以上に設定した場合は、DVD規格に収まるビットレートに落として録画をおこないます。

参照

DVD/CDドライブの使い方→『準備と設定』第4章の「CD-ROMやDVDの扱い方」

チェック

予約録画を実行するときに、DVD-RAMに十分な空き容量がないときは、ハードディスクに録画されます(代理録画)。

チェック

ダブルチューナTVモデルの場合、DVD-RAMに直接録画できるのは「TV1」のチューナだけです。必ず、「TV1」のチューナを使ってください。

参照

DVD/CDドライブの使い方→『準備と設定』第4章の「CD-ROMやDVDの扱い方」

チェック

- (録画)をクリックしてから実際に録画が始まるまで、5秒程度かかります。
- DVD-RAMに録画できない場合は、書き込み可能なDVD-RAMがセットされているか確認してください。

DVD-RAMに番組を保存する

ハードディスクに録画した番組をDVD-RAMに保存します。

1 DVD/CDドライブにDVD-RAMをセットする

2 「編集してDVD-Videoを作る」(p.66)の手順4で、書き込むメディアを「DVD-RAM」にして、「実行」をクリック

「メディアを追加 / 編集」画面が表示されます。

3 「次へ」をクリック

「プレビュー / 出力」画面が表示されます。

4 「書き込み」をクリック

自動的に書き込みが始まります。後の操作は、画面の説明を見ておこなってください。

ポイント

「ビデオのカット編集」をクリックして編集すると、番組からいらない部分をカットできます。

DVD-RAMに保存した番組を再生する

DVD-RAMに保存した番組を再生する方法は、PART1の「作ったDVDを見る」(p.34)をご覧ください。

DVD-VR形式のDVD-RAMは、ほかのパソコンや一般のDVDプレーヤなどでは再生できない場合があります。詳しくは、各機器のマニュアルをご覧ください。

PART 4

録画番組の
編集・利用

録画した番組を携帯電話で見る

録画した番組は、家の中で見るだけでなく携帯電話などで見られる形に変換できます。

番組を持ち歩く

SmartVisionで録画した番組をSD-Video形式に変換してSDメモリーカードに保存すると、対応した機器で見ることができます。家で見る時間のなかった番組を変換しておいて、外出先で見られます。

チェック

この方法で映像を見るには、SD-Video形式に対応した携帯電話などの再生機器が必要です。詳しくは、機器のマニュアルをご覧ください。

■ SD-Video形式のデータについて

SD-Video形式は、SDメモリーカードに動画を保存するための形式です。
SD-Video形式の動画を再生できる機器には、携帯電話やPDA、携帯ゲーム機などがあります。このパソコンで変換した動画が再生できる機器については、この次の「番組をSDメモリーカードに保存する」の手順6で表示される機器をご覧ください。

番組をSDメモリーカードに保存する

チェック

SDメモリーカードをセットしたときに、「Windowsが実行する動作を選んでください。」と表示されたときは、「キャンセル」をクリックしてウィンドウを閉じてください。

1 (VIDEOリスト)をクリック

VIDEO リストが表示されます。

2 番組をクリックし、ファイル出力(ファイル出力)をクリック

「ファイル出力」 画面が表示されます。

3 「MPEGファイルの分割/変換」をクリック

4 パソコンにSDメモリーカードをセットする

5 設定の確認をする

① 「更新」をクリック
「出力先」が「SDカード」になります。

② 「出力モード」が「SD-Video」になっていることを確認する

③ 「詳細設定」をクリック
「SD-Videoフォーマット変換拡張設定」画面が表示されます。

6 SD-Videoの設定をする

① ▼をクリックして再生する機器を選ぶ

② 出力する画質を選ぶ

③ 「OK」をクリック
「SD-Videoフォーマット変換拡張設定」画面が閉じて、手順5の画面に戻ります。

参照

SDメモリーカードのセットのしかた→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンにつなげる」-「トリプルメモリースロット」

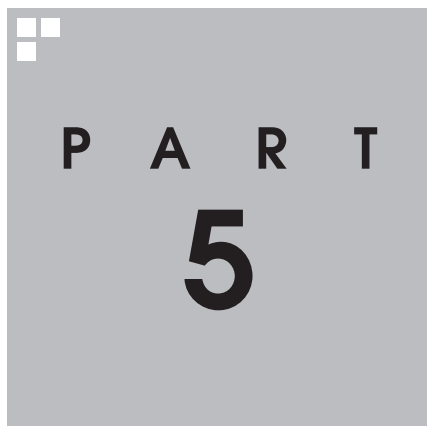
7 「実行」をクリック

SD-VideoWriterが起動し、自動的に番組の変換とSDメモリーカードへの書き込みをします。

8 書き込みが終わったら、「閉じる」をクリックし、SDメモリーカードを取り出す

これで、SDメモリーカードへの番組の保存は完了です。

■ 携帯電話で番組を見る

SDメモリーカードに保存した番組の再生方法は、携帯電話によって異なります。詳しくは、携帯電話のマニュアルをご覧ください。

映像を配信しよう

ホームネットワークを使って、映像をほかのパソコンに配信してみましょう。パソコンが映像基地になります。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 5
映像を
配信しよう

映像をホームネットワークで配信する（VALUESTAR Xのみ）

VALUESTAR Xでは、ホームネットワークに接続したパソコンに映像を配信することができます。

ホームネットワークでテレビを見る

ホームネットワークに接続したほかのパソコン(映像を受け取るクライアントパソコン)から、このパソコン(映像を配信するサーバパソコン)で録画した番組を視聴したり、クライアントパソコンからこのサーバパソコンに録画予約ができるようになります。また、サーバパソコンで受信している番組を視聴することもできます。

サーバパソコンは、VALUESTAR Xシリーズのみです。その他のパソコンはサーバパソコンとして利用できません。

SmartVision/PLAYERを利用できるパソコン

SmartVision/PLAYERは、次の条件のパーソナルコンピュータ(LaVieシリーズ、VALUESTARシリーズ)で動作します。

対象 OS		Windows XP Professional	
		Windows XP Home Edition	
		Windows 2000 Professional (Service Pack 3 以降)	
CPUと利用可能な画質	Pentium4 Pentium Ⅲ	1GHz 以上	高画質
		733MHz 以上	標準画質
	Celeron	1.2GHz 以上	高画質
		900MHz 以上	標準画質
	Athlon	1200+ 以上	高画質
		900MHz 以上	標準画質
	Duron	1200Hz 以上	高画質
		900MHz 以上	標準画質
メモリ		128M バイト以上（Windows XP は 256M バイト以上推奨）	
DirectX		DirectX8.1 以上実装環境	
VRAM 容量		8M バイト以上（16M バイト以上推奨）	
LAN 環境		LAN（100BASE-TX/1000BASE-T）	
		ワイヤレス LAN (IEEE802.11a でのインフラストラクチャ接続または、アドホック接続・IEEE802.11 g でのインフラストラクチャ接続）	

設定のながれ

クライアントパソコンとして使うパソコンによって、必要な設定は異なります。

●2004年9月以降のVALUESTAR/LaVieシリーズの場合

・SmartVision/PLAYERをインストールする(TVモデルを除く)(このページ)
・ホームネットワークにコンテンツを公開する(p.82)

●それ以外のモデル

・SmartVision/PLAYERをインストールする(2003年5月以降のTVモデルを除く)(このページ)
・サーバパソコンのファイアウォールの設定を変更する(p.82)
・ホームネットワークにコンテンツを公開する(p.82)
・クライアントパソコンのファイアウォールの設定を変更する(p.83)

SmartVision/PLAYERをインストールする

「ホームネットサポーター」を使い、サーバパソコンからクライアントパソコンに、SmartVision/PLAYERをインストールします。
クライアントパソコンに「ホームネットサポーター」がインストールされていない場合は、CD-R、またはCD-RWを1枚用意します。

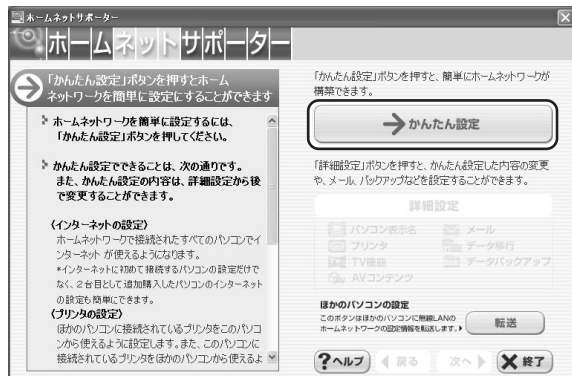
1 クライアントパソコンをルータに接続し、電源を入れる

2 サーバパソコンで「ソフトナビゲーター」の「ネットワークの設定」-「ホームネットサポーター」の「ソフトを起動する」をクリック

3 「コンピューター名変更」画面が表示された場合は、「OK」をクリック

再起動します。

4 「ホームネットサポーターへようこそ」画面で「OK」をクリック

5 「ホームネットサポーター」が表示されたら「かんたん設定」をクリック

参照

ホームネットサポーターについて→ホームネットサポーターのヘルプ

チェック

●すでにSmartVision/PLAYERがインストールされている場合は、そのSmartVision/PLAYERをアンインストールして、新たにこのパソコンに添付されているSmartVision/PLAYERをインストールしてください。

●2003年5月以降のTVモデルにインストールされているSmartVisionには、ネットワーク機能が搭載されています。SmartVision/PLAYERをインストールする必要はありません。

●クライアントパソコンにMediaGarage 2.5以外のMediaGarage(Ver.1.1や1.0など)がインストールされている場合は、クライアントパソコンのMediaGarageをアンインストールしてからSmartVision/PLAYERをインストールしてください。
MediaGarageのバージョンは、MediaGarageのメインメニューで「Info」または「情報」を選ぶと確認できます。

●ホームネットサポーターでSmartVision/PLAYERをインストールできるクライアントパソコンは、Windows XPのみです。クライアントパソコンがWindows 2000 Professionalの場合は、SmartVisionオンラインヘルプをご覧ください。

6 画面の指示にしたがい設定をすすめる

設定を進めていくと、「SmartVision/PLAYER のインストール」、および「MediaGarageのインストール」と表示された画面が表示されます。「SmartVision/PLAYERのインストール」の欄では、クライアントパソコンのコンピュータ名の□を☑にしてください。

「MediaGarageのインストール」の欄では、クライアントパソコンがMediaGarageをインストールできる条件に合っているか、『映像・音楽を楽しむ本』の「ホームネットワークを利用する」-「MediaGarageを使用できるパソコンについて」で確認してからクライアントパソコンのコンピュータ名の□を☑にしてください。

SmartVision/PLAYERのインストールは、コンピュータの管理者権限を持ったユーザーアカウントでおこなってください。制限付きユーザーアカウントではインストールできません。

チェック

SmartVision/PLAYERのインストール直後にセキュリティソフトがSmartVision/PLAYERを検出した場合は、ブロックを解除してください。詳しくは、「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「不正アクセスの防止」-「アクセスブロックを解除する」をご覧ください。

サーバパソコンのファイアウォールの設定を変更する

パソコンでセキュリティソフトを使っている場合は、セキュリティソフトのマニュアルをご覧になり、ネットワーク上のパソコン同士が通信できるように設定してください。

ホームネットワークにコンテンツを公開する

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「MediaGarage」-「サーバツール」をクリック

「Media Server Tool」画面が表示されます。

2 「セキュリティ」タブをクリックし、「非公開リスト」に表示されているクライアントパソコンをクリックして 公開 -> をクリック

クライアントパソコンが「公開」リストに移ります。

3 「OK」をクリック

DiXiM Media Server Toolについて→ MediaGarage のオンラインヘルプ

チェック

「セキュリティについて」の画面が表示されたときは、内容を読んで「はい」をクリックしてください。必要に応じて「今後、セキュリティについてのダイアログボックスを表示しない。」をチェックしてください。

クライアントパソコンのファイアウォールの設定を変更する

●2004年9月以降のVALUESTAR/LaVieシリーズの場合

この設定は必要ありません。「SmartVision/SERVER、SmartVision/PLAYERを使う」(p.84)へ進んでください。

●上記以外のモデルの場合

クライアントパソコンにファイアウォールの設定がされている場合は、SmartVision/SERVERと接続するために、「UDP」、「TCP」の設定を変更してください。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワークとインターネット接続」-「ネットワーク接続」をクリックして表示される画面で、使用している接続をダブルクリック

「ローカルエリア接続の状態」が表示されます。

2 「全般」タブの「プロパティ」をクリック

「ローカルエリア接続のプロパティ」が表示されます。

3 「詳細設定」タブの「Windowsファイアウォール」で「設定」をクリックし、表示された「Windowsファイアウォール」画面で「例外」タブの「プログラムの追加」をクリック

4 SmartVision(C:¥Program Files¥NEC¥SmartVision¥NECSVTV.exe)を追加して「OK」をクリック

「Windows ファイアウォール」画面に戻ります。

5 「例外」タブの「プログラムの追加」をクリックし、「プログラムの追加」画面で「C:¥Program Files¥NEC¥SmartVision¥SVUPnPMn.exe」を追加して「OK」をクリック

「Windows ファイアウォール」画面に戻ります。

6 「例外」タブの「ポートの追加」をクリックし、「ポートの追加」画面で次のポートを追加し「OK」をクリック

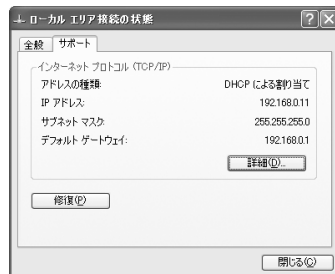
● Windows XP SP2の場合

名前	ポート番号	選択するプロトコル
SmartVision/SERVER	SmartVision/SERVERで使用する"ポート番号+1"の値(ポート番号を変更していない場合は6001)	UDP
SmartVision/SERVER2	SmartVision/SERVERで使用する"ポート番号+2"の値(ポート番号を変更していない場合は6002)	UDP
SmartVision/SERVER3	SmartVision/SERVERで使用する"ポート番号+7"の値(ポート番号を変更していない場合は6007)	UDP
MediaGarage Server	30000	TCP

手順3は、Windows XP SP1をお使いの場合、「詳細設定」タブの「インターネット接続ファイアウォール」で「設定」をクリックし、表示された画面で「追加」をクリックして表示される「サービス設定」画面で設定をおこないます。手順6の表をご覧になり、ポートの追加をおこなってください。

● Windows XP SP1の場合

サービスの説明	このサービスの外部ポート番号/このサービスの内部ポート番号	プロトコル
SmartVision/SERVER	SmartVision/SERVERで使用する"ポート番号+1"の値(ポート番号を変更していない場合は6001)	UDP
SmartVision/SERVER2	SmartVision/SERVERで使用する"ポート番号+2"の値(ポート番号を変更していない場合は6002)	UDP
SmartVision/SERVER3	SmartVision/SERVERで使用する"ポート番号+2"の値(ポート番号を変更していない場合は6002)	TCP
SmartVision/SERVER4	SmartVision/SERVERで使用する"ポート番号+7"の値(ポート番号を変更していない場合は6007)	UDP
SmartVision/SERVER5	SmartVision/SERVERで使用する"ポート番号+7"の値(ポート番号を変更していない場合は6007)	TCP
MediaGarage Server	30000	TCP

Windows XP SP1をお使いの場合は、このほかにサーバパソコンのIPアドレスを入力する必要があります。

IPアドレスは、「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワークとインターネット接続」-「ネットワーク接続」をクリックして表示される画面で、使用している接続をダブルクリックし、「ローカルエリア接続の状態」の「サポート」タブをクリックすると表示されます。

7 ポートの追加が終わったら「OK」をクリック

「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されます。

8 「OK」をクリック

これで設定は完了です。

■ セキュリティソフトをご使用の場合

パソコンでセキュリティソフトを使っている場合は、セキュリティソフトのマニュアルをご覧になり、ネットワーク上のパソコン同士が通信できるように設定してください。

SmartVision/SERVER、SmartVision/PLAYERを使う

サーバパソコンとクライアントパソコンの設定が終わったら、ホームネットワークで映像を配信する準備ができました。

配信方法について詳しくは、オンラインヘルプの「使ってみよう(導入編)」-「複数のPCをつないでSmartVisionを活用しよう!」をご覧ください。

■ クライアントパソコンから録画したテレビ番組を視聴するときの注意

●SmartVision用のTVチューナが搭載されていないパソコンでSmartVision/PLAYERを使う場合、選べるソースはVIDEOのみとなります。テレビを視聴する場合は、サーバパソコンのTVチューナを選択してください。

●サーバパソコンを複数のユーザーを設定してお使いの場合は、視聴したい録画番組のデータを持っているユーザーアカウントでログオンして、SmartVision/SERVERを起動してください。

●SmartVision/SERVERが録画したテレビ番組を配信できるSmartVision/PLAYERは、同時に2台までです。

■ クライアントパソコンからタイムシフトモードのテレビ番組を視聴するときの注意

●SmartVision/SERVERがタイムシフトモードのテレビ番組を配信できるSmartVision/PLAYERは、同時に1 台までです。

●コピー制御信号の入った映像は、配信できません。

●クライアントパソコンからは、手動で録画できません(予約録画をサーバパソコンに登録できます)。

●ブックマークの登録／削除機能は、利用できません。

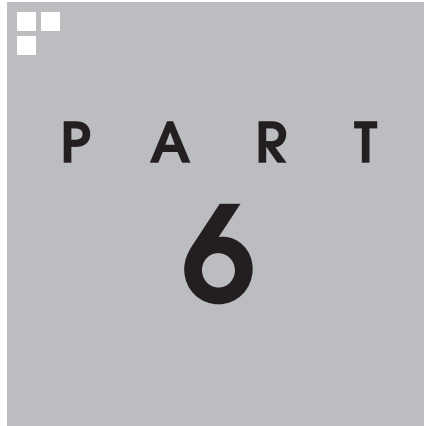
●DVD作成機能、ファイル出力機能と簡易編集機能は、ネットワークに接続しているときは利用できません。これらの機能は、クライアントパソコンに録画データをコピーすると、利用できるようになります。

●1000BASE-T、100BASE- TX規格などの高速なLAN 環境で利用しているときでも、高画質またはユーザー設定で高いビットレートに設定している場合は、映像がスムーズに表示されなかったり、乱れることがあります。サーバパソコンから配信したテレビ番組をタイムシフトモードで視聴するときは、標準画質にするなど画質を低く設定してください。

■ クライアントパソコンからサーバパソコンを省電力モードにする/起動するときの注意

●サーバパソコンを、ネットワークアダプタを使ってスタンバイ状態から復帰できるように設定してください。設定は、「スタート」-「コントロールパネル」-「パフォーマンスとメンテナンス」-「システム」-「ハードウェア」タブ-「デバイスマネージャ」-「ネットワークアダプタ」から、使っているネットワークアダプタをダブルクリックしてプロパティを表示し、「電源の管理」タブの「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」を☑にします。

●SmartVision/SERVER の「配信先から終了要求されたときの動作」で「省電力モードに移行しない」が設定されているときは、クライアントパソコンからサーバパソコンを省電力モードにすることはできません。

●サーバパソコンをクライアントパソコンから起動できるのは、サーバパソコンとクライアントパソコンが有線LAN で接続している場合だけです。無線LAN で接続している場合は、サーバパソコンを省電力モードにすることはできますが、省電力モードから復帰したり、起動させることはできません。

Q&A

SmartVisionを使っていて、困ったことがあったときは、ここをご覧ください。

PART 6 Q&A

テレビを見ているとき

テレビが映らない、音が出ないなど、テレビを見ようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

テレビが映らない

■ 接続は正しいですか？

『準備と設定』をご覧になり、アンテナ線の接続を確認してください。
また、VALUESTAR L、VALUESTAR X、VALUESTAR G タイプCをお使いのお客様は、本体とディスプレイの接続もあわせて確認してください。

■ チャンネルは設定されていますか？

テレビを見るには、あらかじめチャンネルの設定が必要です。設定については『映像・音楽を楽しむ本』の「テレビを見るための準備(TVモデルのみ)」をご覧ください。

■ ほかのソフトが起動していませんか？

MediaGarageやWinDVDなど、映像を表示するソフトを同時に動作させることはできません。起動しているソフトをいったん終了させた後、SmartVisionを起動してください。

■ ほかのユーザーでSmartVision などを起動したまま、ユーザーを切り替えていませんか？

SmartVision、SmartVision/SERVERを起動している、またはMediaGarage でテレビ視聴中、Windowsのユーザー切り替えの機能で別のユーザーに切り替えると、そのユーザーではSmartVision、SmartVision/SERVERを起動することはできません。

■「VIDEO」やビデオ入力になっていませんか？

画面左のソースタブが「VIDEO」になっているときは、「TV」タブ(ダブルチューナTVモデルの場合は「TV1」または「TV2」)をクリックしてください。
チャンネルが「L-1」または「L-2」になっているときは、

(ビデオ入力)をクリックしてください。

■ 解像度や表示色を変更していませんか？

SmartVisionを利用できる解像度と表示色は、「800×600ピクセル、16bit以上」です。条件に合っていないときは、設定を変更してください。

参照

解像度と表示色について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「表示機能」

音が出ない、音が大きすぎる

■ 音量を調節してください。

SmartVisionのまたはをクリックして音量調節をおこなってください。
また、ミュート(消音)になっていないか確認してください。

音声コントロールとは別に、パソコンのスピーカ自体の音量を調節できます。スピーカの音量が最小になっていると、SmartVisionの音声コントロールを調節しても音量が大きくなりません。
チャンネルコントロールで音量を最大にしてもテレビの音が小さいときは、パソコンのスピーカの音量を上げてください。スピーカの音量を調節しても、音声コントロールのVOLは変化しません。

■ ミュート(消音)の確認と音量の調節をしてください。

「ボリュームコントロール」でミュートの確認と音量の調節をおこなってください。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「エンターテイメント」-「ボリューム コントロール」をクリック

2 「ボリューム コントロール」画面で全ミュートがになっているときはクリックしてにする

さらにスライダー( )を上下にドラッグして、音量を調節してください。調節したら、右上のをクリックして、画面を閉じてください。

チェック

SmartVisionの音量は、「ボリュームコントロール」(または「Volume Control」、「マスタ音量」)の「WAVE」「CDプレーヤー」(または「WAVE」「Video」)と連動しています。「ボリュームコントロール」の表示は、機種によって異なります。
「Video」は標準の状態では表示されません。「オプション」-「プロパティ」-「表示するコントロール」から選んでください。

参照

●音量の調節について→PART1の「音量を調節する」(p.7)
●パソコンのスピーカの音量を調節する→『準備と設定』第4章の「音量を調節する」
●ボリュームコントロールについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「サウンド機能」

タイムシフトモードとライブモードで音量に差がある

■ 次の手順で音量差を変更してください。

1 (設定)をクリック

2 「映像/音声/操作」をクリックし、「TV音声」タブの「音量調整」で音量を調節する

3 「OK」をクリック

映像が乱れる(コマ落ちする)

■ CPU使用率が高くなっていませんか？

パソコンのCPU 使用率が高くなると映像がコマ落ちします。ほかのソフトを終了してから、SmartVisionを起動してください。
次の手順でCPU使用率を確認できます。

1 タスクバーの何もない部分を右クリックし、「タスクマネージャ」をクリック

「Windows タスク マネージャ」が起動します。

2 「パフォーマンス」タブをクリック

3 CPU使用率を確認する

CPU使用率が約80%以上のときは、画面が乱れることがあります。ほかのソフトを終了して、CPU使用率を約80%以下にしてください。

また、次の手順でテレビの表示画質を変えてもCPU使用率を下げられます。

1 (設定)をクリック

2 「映像/音声/操作」-「VISITAL」タブをクリック

3 「プログレッシブ表示」の「斜め線補正」「輪郭強調」を□にするか、「精細」を◉にする

■ ウイルスバスターの自動アップデート確認をしていますか？

ウイルスバスターの自動アップデート確認で、コマ落ちしたり音飛びすることがあります。次の手順をおこなってください。

1 通知領域にある(ウイルスバスターのアイコン)を右クリック

2 「メイン画面を起動」をクリック

3 「インテリジェントアップデート」の右にある「設定する」をクリック

4 「アップデート設定」で「インテリジェントアップデート(自動アップデート)を有効にする」の☑をクリックして□にする

5 「適用」をクリック

「インテリジェントアップデート」を無効にすると、ウイルス定義ファイルや製品の更新(アップデート)が自動的におこなわれなくなります。画面いっぱいに表示されるソフトを終了した後は、「インテリジェントアップデート」をするように設定を変更するか、最低1週間に1回は手動で更新をおこなってください。

参照

音量の調節について→PART1の「音量を調節する」(p.7)

参照

サポートナビゲーターの「安心安全に使う」-「ウイルス感染の防止」-「ウイルス対策ソフトを更新する」-「インテリジェントアップデート(自動アップデート)を無効にする」をご覧ください。

チェック

アップデートの確認は、番組を視聴していないときにおこなってください。

■ 字幕放送を受信する設定になっていませんか？

字幕放送を受信する設定にしていると、コマ落ちが発生する場合があります。
映像を優先される場合は、次の手順で字幕放送の字幕放送の設定を解除してください。

1 **(設定)をクリック**

2 **「TV詳細」アイコンをクリックし、「データ放送/字幕」タブの「字幕放送を受信する」をクリックして□にする**

3 **「OK」をクリック**

■ パソコンの近くで携帯電話や電子レンジを使用していませんか？

このパソコンの近くで携帯電話や電子レンジを使用すると、映像や音声が乱れる場合があります。

テレビの画面が白っぽい

ディスプレイに「Visualボタン」があるモデルは、「Visualボタン」を押すと、色補正がおこなわれ、メリハリのついた見やすい画面になります。

Visualボタンについて→LaVie、または液晶ディスプレイ一体型モデルの場合は、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「各部の名称と役割」、その他のモデルの場合は、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

PART 6 Q&A

録画予約ができないとき

テレビ番組表を受信するときや番組予約をしたときに問題が起きたときは、ここをご覧ください。

録画予約した番組が録画されていない

■パソコンをシングルユーザーでお使いの場合、Windowsのログオンパスワードを設定すると、電源を切った状態から録画予約を実行することができません。

セキュリティ上の保護のため、Windowsのログオンパスワードを設定している場合は、電源を切った状態から録画予約を実行することはできません。Windowsのログオンパスワードを削除するか、「設定ウィンドウ」-「録画/再生/予約」-「予約」タブの「予約録画/予約視聴/番組表受信終了後の電源設定」で「電源を切る。」以外に設定してください。

■パソコンを複数ユーザーでお使いの場合は、電源を切った状態から録画予約を実行することができません。

パソコンを複数ユーザーでお使いのかたは、「設定ウィンドウ」-「録画/再生/予約」-「予約」タブの「予約録画/予約視聴/番組表受信終了後の電源設定」で「電源を切る。」以外に設定してください。

■「結果リスト」で予約実行結果を確認してください。

「結果リスト」に予約実行結果が表示されます。予約録画が失敗すると「結果」の欄に「●失敗」と表示されます。結果の詳細を見たい番組をクリックすると、画面上部に結果の詳細が表示されます。

予約実行結果を確認する→ PART1の「予約の結果を確認する」(p.23)

■ パソコンの電源を切っていませんか?

ご購入時の状態では、電源を切った状態からパソコンを自動起動することはできません。パソコンは、電源を入れた状態か、省電力状態にしてください。
パソコンをシングルユーザーかつパスワードなしでお使いの場合は、設定を変更することで、電源を切った状態から予約した時刻にパソコンを自動起動できます。詳しくは、PART3の「予約実行後の動作を設定する」(p.59)をご覧ください。

VIDEOリストに録画した番組が見あたらない

■ 録画が失敗していませんか?

なんらかの事情で予約録画が失敗した場合は、録画番組一覧に表示されません。
予約録画が成功しているかどうかは、結果リストで確認することができます。

■ 録画保存先フォルダを変更していませんか?

予約したユーザーの保存先フォルダがご購入時の状態でも、予約録画を実行したユーザーの保存先が変更されている場合、VIDEOリストには録画した番組が表示されません。

■「シークレット予約」で録画していませんか?

シークレット予約で録画すると、ほかのユーザーでログオンしたときには、番組名に「シークレット録画」と表示されます。
録画したユーザーでログオンすると、番組名などが表示されます。

■ おまかせ録画をしていませんか?

「おまかせ録画」で録画した番組は、録画フォルダと異なるフォルダに保存されます。VIDEOリストの中からおまかせ録画フォルダをクリックしておまかせ録画のファイルを表示してください。
また、おまかせ録画は、最大録画容量を超えた場合、過去に録画したファイルの中から古い順に削除していきます。
削除したくない場合は、手動で予約録画するか、おまかせ録画の消去したくないファイルを右クリックして、プロパティを表示し、おまかせ録画のチェックボックスを外してください。

■ DVD-RAMに直接録画していませんか?

DVD-RAMに録画した番組は、VIDEOリストには表示されません。

■ 録画した番組をほかのユーザーが移動または削除していませんか?

パソコンを複数ユーザーで使っている場合、「VIDEOリスト」にはすべてのユーザーの録画した番組が表示されるので、録画したユーザー以外の人でも、番組を別のフォルダに移動したり、削除できます。ほかのユーザーが番組を移動したり削除していないか、確認してください。

参照

予約結果を確認する→PART1の「予約の結果を確認する」(p.23)

おまかせ録画で番組を録画したり、予約することができない

■ 条件の一致する番組が、同時刻に複数ありませんか？

おまかせ録画で、条件が一致する番組が複数存在する場合は、シングルチューナTVモデルの場合はどれか1つ、ダブルチューナTVモデルの場合は2つまで録画できます。録画したい番組以外の番組を除外リストに登録するか、条件を絞り込んでください。

■ 番組表の受信時刻と重なっていませんか？ シングルチューナ

番組表の受信時刻と重なっている番組は、番組表の受信予約が優先されるため、録画されません。番組表の受信時刻を設定している場合は、受信時刻を変更してください。

参照

番組表の受信時刻を変更する→このPARTの「番組表の受信時刻を変更したい」(p.97)

■ すでに録画予約した番組と、予約した時間帯が重なっていませんか？ シングルチューナ

すでに録画予約した番組と予約した時間帯が重なっている場合は、先に登録された予約が優先されます。おまかせ予約を優先する場合は時間帯の重なる番組予約を取り消してください。

参照

予約を変更する→PART1の「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.22)

■ すでに録画予約した番組と、予約した時間帯が重なっていませんか？ ダブルチューナ

同じ時間帯に番組表の受信を含む3つ以上の予約が重なっている場合は、先に登録された2つの予約が優先されます。おまかせ予約を優先する場合は時間帯の重なる番組予約を取り消してください。
また、DVD直接録画を予約している時間帯には、2件目以上の予約を重ねることはできません。

参照

予約を変更する→PART1の「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.22)

■ 番組を「除外番組リスト」に登録していませんか？

除外リストに登録した番組は録画されません。
録画対象番組に戻す場合は、「除外番組リスト」をクリックして対象番組を選び、「解除」をクリックしてください。

■ 予約リストから番組を取り消していませんか？

予約リストから取り消した番組（取り消した放送回のみ）は、おまかせ録画の対象外になります。予約する場合は、通常の番組予約で予約しなおしてください。

外出先からの録画予約ができない

■ SmartVision TV録画予約サービスクライアント（BIGLOBE 用）を利用するには、Windowsのログオンパスワードと SmartVisionのパスワードの設定が必要です。

Windowsのログオンパスワードは、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「複数の人で1台のパソコンを使う」-「パスワードを設定する」をご覧になり設定してください。
SmartVision のパスワードは、SmartVisionの（設定）をクリックし、「設定ウィンドウ」の「個人情報」アイコンをクリックして表示される画面で、Windowsのログオンパスワードと同じパスワードを設定します。

■ SmartVision TV録画予約サービスクライアント（ドットゲートサービス用）を利用するには、Windowsのログオンパスワードの設定が必要です。

「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「複数の人で1台のパソコンを使う」-「パスワードを設定する」をご覧になり設定してください。

PART 6
Q&A

番組表の受信がうまくいかない

番組表受信時に問題が起きたときには、ここをご覧ください。

番組表が受信できない、またはデータの取りこぼしが起きる

■ SmartVisionが起動していると番組表が受信できないような設定になっていませんか？

次の手順をおこなってください。

1 **(設定)をクリック**

2 **「番組表」-「TV番組表データ」タブの「ADMS-EPG を使用する」にチェックをして「設定」をクリック**

3 **「テレビ視聴中に番組表受信を行う」のチェックを外している場合はチェックする**

■ アンテナは接続されていますか？

『準備と設定』をご覧になり、アンテナ線の接続を確認してください。

■アンテナの向きが悪い、またはアンテナとの接続が長くありませんか?

アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策をおこなうと、受信状態が改善され、データの取りこぼしの頻度が低くなることがあります。

■ 受信チャンネルは正しく設定されていますか?

チャンネルの設定を確認してください。設定方法については『映像・音楽を楽しむ本』の「テレビを見るための準備(TVモデルのみ)」をご覧ください。

■アンテナ線の接続に使用しているのはネジタイプのF型コネクタプラグですか?

ネジタイプのF 型コネクタプラグ以外だと、正しく受信できない場合があります。
また、ケーブルとF型コネクタプラグの接触を確認してください。

参照

F型コネクタプラグの接続について
→『準備と設定』付録の「ケーブルにF型コネクタプラグを取り付ける」

■ テレビ電波の状態の悪い場所ではありませんか?

番組表を受信できる場所であっても、次のような場所では受信できないことがあります。
●ゴースト(二重映り)が多い場所
●電波が弱い場所
●極端に電波が強い場所

■ 地上アナログテレビ放送以外のテレビ放送を利用していませんか?

「地上アナログテレビ放送以外のテレビ放送(ケーブルテレビ会社のテレビ放送中継サービス)」では、番組表を受信できないことがあります。

■ 番組表の受信チャンネルをテレビ朝日系列の放送局に設定していますか?

番組表は、各地域におけるテレビ朝日系列の放送局から受信できます。受信チャンネルが正しく設定されているか確認してください。
番組表を送信している放送局については、p.12の表をご覧ください。
受信チャンネルの設定は、このページの「番組表の受信時刻を変更したい」の手順4で表示される「ADAMS-EPG受信設定」画面で確認できます。

チェック

電波の弱い場所で使用する場合は、ブースターを使用してください。また、ゴーストの多い場所で使用する場合は、ゴーストキャンセラーが必要です。ブースターやゴーストキャンセラーの取り付けについては、お近くの電器店などにご相談ください。

チェック

ケーブルテレビをご利用の場合は、ADAMS-EPGが受信可能かどうか、ご利用のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

番組表が2日分しか表示されない

■ ご利用の地域はどこですか?

番組表は通常、次の日数分が配信されます。
●北陸朝日放送、あさひテレビのエリア:7日分
●北九州エリアのNHK総合、NHK教育:2日分
●上記以外のエリア:最大8日分

この日数は、予告なく変更される可能性があります。

参照

番組表について詳しくは、http://www.tadv.jp/service/adams.htmlをご覧ください。

番組表の受信時刻を変更したい

番組表の受信時刻と録画する番組の放送時間が重なっているときなどに、次の手順で番組表を自動受信する時間を変更できます。

1 (設定)をクリック

「設定ウインドウ」が表示されます。

2 「番組表」アイコンをクリックし、「TV番組表データ」タブをクリック

3 「ADAMS-EPGを使用する」を☑にして「設定」をクリック

「ADAMS-EPG 受信設定」が表示されます。

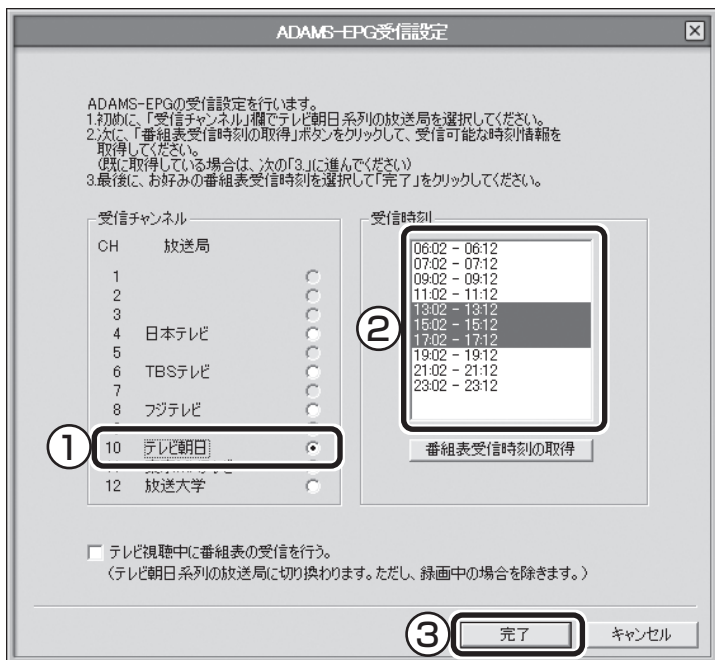
チェック

番組表を配信している放送局にチャンネルを設定していないと、番組表は受信できません。また、受信中にチャンネルを変更しても番組表を受信できません。

4 受信時刻を変更する

① 番組表を配信しているチャンネルが選ばれていることを確認する

② 受信時刻をクリック

③「完了」をクリック

ポイント

【Ctrl】を押したままクリックすると、複数の時間帯を選ぶことができます。

ポイント

パソコンが省電力状態でも、受信時刻になると自動的に省電力状態から復帰して番組表を受信します。
電源を切った状態からの自動起動について詳しくは、PART3の「予約実行後の動作を設定する」(p.59)をご覧ください。

パソコンを複数ユーザーで使っているかた、またはシングルユーザーでパスワードを設定しているかたは、番組表を受信するときはパソコンにログオンしている必要があるので、パソコンを起動している時間を含めて選ぶことをおすすめします。

PART 6 Q&A

動画や静止画をうまく取り込めない

動画や静止画をキャプチャしようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

キャプチャできない

■ ハードディスクの空き容量が不足していませんか？

ハードディスクの空き容量を確認してください。
ハードディスクに、キャプチャした画像を記録するのに十分な空き容量がないと、キャプチャできないことがあります。
ハードディスクの空き容量を増やす方法については、PART1の「録画した番組を削除、整理する」(p.29)または「サポートナビゲーター」-「解決する」-「Q&A一覧」-「ハードディスク」をご覧ください。

参照
録画時のハードディスク容量について→PART1の「録画の画質とハードディスク容量について」(p.21)

■ 本体と外部ビデオ機器は正しく接続されていますか？

外部ビデオ機器からの映像をキャプチャしたい場合は、本体と外部ビデオ機器を正しく接続してください。

■ DVD-Videoの映像をキャプチャしようとしていませんか？

DVD-Videoのような、著作権保護用のコピー制御信号が含まれている映像は、このパソコンで録画することはできません。また、その映像をこのパソコンに入力し、このパソコンに接続したビデオ機器などに出力することもできません。

ビデオからの映像が表示されない、音声が出ない

■ 正しく接続されていますか？

パソコンとビデオデッキを接続するには、市販のビデオケーブルと音声ケーブルが必要です。接続については、PART3 の「ビデオデッキやアナログビデオカメラの映像を録画する」(p.54)をご覧ください。

■ ビデオ入力になっていますか？

画面左下にある ビデオ入力 (ビデオ入力)をクリックしてください。

PART 6 Q&A

その他

SmartVisionのデータをバックアップしたい

バックアップ−NXでバックアップする場合、保存先の容量分しか保存できないため、長時間録画したデータを保存するときに容量が足りなくなることがあります。
録画番組データは、SmartVisionのファイル出力機能を使って、番組ごとに書き出して、映像のデータとして保存することでバックアップしてください。

参照

ファイル出力機能について→「SmartVisionオンラインヘルプ」-「使ってみよう(導入編)」-「SmartVisionで編集しよう!」

SmartVisionの録画番組データをほかのパソコンに移したい

■ SmartVisionの録画番組データをそのままほかのパソコンに移すことはできません。

録画番組データをほかのパソコンで見るときは、SmartVisionのDVD作成機能またはファイル出力機能を使って、データをDVD-R/RW、DVD+R/RWやCD-R/RWに保存して映像データとしてほかのパソコンで再生してください。

パソコンの電源が勝手に入ってしまう

■ 予約時刻ではありませんか?

設定によっては、予約録画(おまかせ録画を含む)、予約視聴、番組表受信の予約をしていると、予約時刻の約8分前にパソコンが自動的に起動して、予約に備えます。
予約録画、予約視聴、番組表受信の予約内容を確認してください。
番組の録画・視聴予約内容については、PART1の「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.22)をご覧になり、予約内容と予約結果を確認してください。
電源を切った状態から自動的にパソコンを起動させたくない場合は、PART3の「予約実行後の動作を設定する」(p.59)をご覧になり、設定を変更してください。

TV-OUT(外付けディスプレイやテレビへの出力)ができない(LaVie Tのみ)

■ ハードウェアデコーダを使用する設定になっていませんか?

LaVie Tで、ハードウェアデコーダを使用する設定になっていると、TV-OUTは利用できません。ご購入時の状態では、ハードウェアデコーダを使用する設定になっているので、TV-OUTを利用したいときは設定を変更してください。

LaVie Tの設定について→付録の「LaVie Tのテレビ機能について」(p.107)

付　録

SmartVision各モードのボタンやタブの機能についてはこちらをご覧ください。

付録　各モードの画面説明

■ ノーマルモード

●コントロールパネル

プログレスバー

タイムシフトモード時：つまみの位置がリアルタイム放送との差を表します。つまみをドラッグしてタイムシフトしている時間を調節できます。

録画番組再生時：つまみの位置が現在再生している位置を表します。つまみをドラッグして映像を巻き戻したり早送りしたりできます。

ライブモード時：何も表示されません。

チェック

SmartVisionの画面をドラッグして広げると、設定ボタン･インフォメーションボタン･リストウィンドウ表示ボタンには各機能名が表示されます。

チェック

映像表示ウィンドウで右クリックをすると、メニューが表示されます。メニューで項目を選んでクリックすることで、選んだ項目操作を実行できます。

参照

SmartVisionの設定について→オンラインヘルプの「設定」

■ アドバンストモード

アドバンストモード画面の左下には、「番組情報」タブ、「シーン・・」タブ、「簡易編集」タブ(録画番組再生時)があり、切り換えて操作します。

● 「番組情報」タブ

● 「シーン・・」タブ

※1：録画番組の再生時またはタイムシフトモード時のみ

※2：録画番組の再生時のみ

●「簡易編集」タブ（録画番組再生時）

※ ここから を指定しないで登録した場合は、番組の先頭から登録されます。ここまで を指定しないで登録した場合は、番組の最後まで登録されます。

■ スリムモード

スリムモードにすると、シンプルな画面で番組を見ることができます。また、ノーマル/アドバンストモードよりも画面のサイズを小さくすることができます。

■ フルスクリーンモード

ディスプレイいっぱいに画面を表示します。マウスをクリックするともとに戻ります。

ノーマルモード・スリムモード・アドバンストモード時に、映像を表示している領域をダブルクリックすると、フルスクリーンモードに切り換わります。

付録

LaVie Tのテレビ機能について

LaVie Tのテレビ機能では、ハードウェアデコーダを利用できます。この機能を使うことで、テレビの高画質化に加えて、パソコンにかかる負荷を軽減できます。
ご購入時の状態では、ハードウェアデコーダを利用する設定になっています。
ハードウェアデコーダを利用しているときは、次の機能が利用できません。

- 音声付き変速再生
- 静止画のキャプチャ
- ブックマークの登録
- 簡易編集
- TV-OUT(外付けディスプレイやビデオへの出力)

これらの機能を使うためには、SmartVisionでハードウェアデコーダを利用しないように設定を変更する必要があります。
次の手順で、ハードウェアデコーダを利用しない設定にすると、すべての機能が利用できるようになります。

1 SmartVisionの(設定)をクリック

2 設定を変更する

①「映像 / 音声 / 操作」アイコンをクリック

②「VISITAL」タブをクリック

③「プログレッシブ表示」の「高精細」、「精細」、「標準」のどれかを にする

④「OK」をクリック
テレビ画面に戻ります。

これで設定は完了です。

索　引　INDEX

英数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行